2001年東アジア大阪大会に

ハンドボール競技実施！

2001年に東アジア大会が大阪で開催されることになっていたが、このほど実施競技が発表となった。ハンドボール競技は、バレーボールや柔道と並んで実施競技15種目に含まれることが明らかとなった。正式には、10月の東アジア競技大会連合会議で決定される。

当初、ハンドボール競技は含まれないとの話があり実施が危ぶまれていたが、日本ハンドボール協会としては、実施に向けて大阪市、ＪＯＣに働きかけた努力が報われたものと喜んでいる。

実施競技選考については、22競技団体から要望が出され、第１回大会の12競技、第２回の13競技からさらに膨らみ、15競技となった。東アジア大会の新競技として、我がハンドボール競技とバレーボールが加わった。

この大会については、はじめ極東トーナメントとして平成４年に中国の上海で開催され、第１回の大会を男子は日本が優勝を飾っている。その後、東アジア大会に併合されるはずであったが実現に至っていなかった。

また、このような国際大会が大阪で開催される意義は、大阪オリンピック誘致に向けて弾みともなるもので、日本ハンドボール界にとっても、今後の国際的飛躍に弾みを付けるものと期待している。

大阪での取り組みも、今年８月末から第５回アジア女子ジュニア選手権（兼世界女子ジュニア選手権予選）を開催することとなっており、東アジア大会から大阪オリンピック誘致に向けて、国際競技会運営のスタートについている。

今後、オリンピックの檜舞台に向けて、全国から大阪を支援する体制作りにご協力下さい。

○　○　○　○　○

実施競技は以下の通り。

陸上、水泳、体操、レスリング、柔道、重量挙げ、バスケットボール、サッカー、ハンドボール、ボクシング、テコンドー、ソフトテニス、武術、ボウリング、バレーボール

協会だより

平成10年度6月常務理事会

日　時　6月13日（土）
10時00分～11時45分
場　所　日本青年館会議室
出席者　中澤副会長、市原専務理事、常務理事8名、監事1名、総務委員1名、事務局2名

1　平成9年度事業報告(案)について

各委員会報告を、各本部長が纏めて報告。詳細については、各担当理事より報告。平成9年度事業報告（案）を承認。

2　平成9年度決算(案)について

一般会計支出について、世界選手権に伴い当初予定していない事業などがあったため、他事業予算を押さえたが、予算に対してプラスとなったことを報告。

特別会計について、委託事業、単独事業、特別強化費活用事業などを報告。

平成9年度決算（案）を承認。

'97男子世界選手権日本協会分担事業収支について、収支差額プラスの報告があった。

3　平成10年度補正予算(案)について

平成9年度決算(案)より修正した補正予算(案)を承認。委託事業について、ＪＯＣへ申請した事業が未確定のため、2次補正で明示することとした。

4　追加参事の任命について

企画・広報部、強化部より参事の推薦があり了承した。財務・会計部、競技本部については、継続検討。

5　委員会委員の選任と指名について

総務委員会、法務委員会、企画委員会、広報委員会、機関誌編集委員会、審判委員会、競技運営委員会、インターネット委員会、日本リーグ委員会、強化委員会、医科学委員会、以上各委員会について承認。

6　第5回アジア女子ジュニア選手権大阪大会について

大阪協会よりの補助金増額申請について、事業予算書を検討。各事業部より、意見を事務局へ提出依頼がなされ、継続検討することとした。

7　第13回女子世界選手権大会放映について

10月より予定の、女子世界選手権大会の放映について、総費用と協会負担について報告があった。

8　チーム登録料の改定について

平成5年度以降の登録金改定経緯が報告され、次年度以降の登録金の見直しについて意見があった。

9　オーナー会議について

7月3日（金）開催予定の平成10年度第1回オーナー会議内容について検討。

10　報告了承事項

強化部より、男女ナショナルチーム欧州遠征、第6回アジア男子ジュニア選手権大会組み合わせについて報告。

第13回アジア大会選手団編成数について報告。この他、数名のエキストラオフィシャルの枠があることを報告。

湧永製薬オーストラリア派遣について報告。

中・日・韓ジュニア交流競技会派遣チームについて報告。

平成10年度第1回理事会

日　時　6月13日(土)13時～16時
場　所　日本青年館503会議室
出席者　理事15名、参事8名（うち1名代理出席）、監事3名

1　日本協会本部制の運営方法について

専務理事より、役員の意識改革、スピードある大局的な意思決定のための権限委譲、人材育成と登用・活用を、今後の日本協会の活動方針の3本柱とすること、並びに、スピードある大局的な意思決定を実施するための具体策として、次の3本部制を設置し、本部長に権限を委譲する旨の提案、説明があった。

異議なく了承。

2　平成9年度事業報告(案)について

総務本部長より総務、企画・広報、財務、国際、機関誌の各委員会事業報告について、競技本部長より指導・普及委員会の事業報告について、競技副本部長より審判委員会の事業報告について、強化事業副本部長より強化、医・科学、日本リーグの各委員会事業報告について、それぞれ説明があった。これに関して異議なく承認された。

3　平成9年度決算(案)について

平成9年度一般会計収支決算書、特別会計収支決算書、収支決算書総括表、正味財産増減計算書、貸借対照表総括表、総括財産目録について説明。引き続き、監事より、監査証明書及び監査報告書について報告。また、'97世界選手権大会の事業収支について余剰金が出たことが報告された。さらに、業務監査報告として、執行状況についての報告があった。異議なく承認。

4　平成10年度事業予算(案)について

平成9年度決算に基づいた平成10年度事業予算の第一次補正予算（案）として、'97世界選手権大会の余剰金については特別預金積立とすること、平成10年度は欠損見込みであること、予定外の支出の可能性があること、登録料及び機関誌の値上げを検討中であることの説明がなされた。また、収入の増加と、支出の効率化の依頼があった。これに関し、本部制の運営に移行するにあたっての枠組みの変更についての質問があったが、運営上と会計上の連動は必要ないが、項目は事業部別に並べ替えることを検討することで、一同異議なく承認。

5　新評議員の承認及び新理事推薦について

千葉県より提案されている評議員の交代について、及び、実業団連盟理事長の日本協会理事の追加を次回評議員会へ提案することについて、それぞれ説明があった。これに関して、評議員と理事の意志疎通をより密接にするための評議員のあり方を踏まえた上で、次度の役員改選に併せて仕組みの見直しを行うことを前提に、異議なく承認。

6 役員登録について

現状は選手のみの登録であるが、本会及び加盟団体の役員などについても参加感を煽り、全員参加のもとでの競技発展を期するためにも、役員登録制度の実施の提案があった。引き続き、U−23、U−16についてはオフィシャルサプライヤーがないこと、競技人口に合った配分で競技支援を行うという企業姿勢があり、登録人口の増加を行う必要性について、補足説明があった。これに関して、日本協会並びに地方協会の財政が逼迫していること、他企業団体でも実施しているケースがあること、登録による役員証の発行による各大会での役員証の発行の手間が省けること、C級コーチ資格を徹底させる上でも有効なことなどの意見から、プロジェクトチームにて方法、金額などについて検討することで、異議なく承認。

7 第5回アジア女子ジュニア選手権大会について

標記大会は当初中国での開催予定であったが、開催が不可能との連絡を受け、日本での開催を検討している旨、説明があった。一方、大阪はオリンピック招致活動や東アジア大会などを控えているが、国際的なビッグゲーム主管の経験に乏しい。大阪をアピールする意味で、標記大会を大阪で開催することが提案された。標記提案については参加者一同異議なく承認。

8 シドニーオリンピックアジア予選大会について

シドニーオリンピック出場のためにも標記大会の日本開催希望の説明があった。これに関し、常務理事会に一任することで、異議なく承認。

報告事項

日本協会各本部より担当業務報告

1 総務本部（企画・広報部）

(イ) 7月3日（金）常務理事会、日本リーグ機構オーナー会議、「斎藤名誉会長オリンピックオーダー金賞受賞を祝う会」を開催。祝賀会については出席依頼。

（総務部）

(イ)日本協会創立60周年記念誌の発行に際しての協力の感謝と、紹介依頼。

2 競技本部（競技部、指導・普及部）

(イ)アジア大会プレ大会に愛知県教職員チームを派遣。

(ロ)第1回アジアクラブリーグの参加要請があったが、日本リーグ日程と重複するため参加しない旨の連絡と、AHFに対しこの様に無理で急な日程決定に対する対処を要請。

(ハ)平成10年度公認C級コーチ養成講習会を開催。

(ニ)第1回学校体育ハンドボール研究集会を8月19日～20日に名古屋市千種スポーツセンターにて開催。

(ホ)ザムスト社後援でコーチレフェリーシンポジュウムを、広島にて7月26日～28日に開催。

(ヘ)ワールドゲームズ２００１のテクニカルデレゲートに渡邊副会長がIHFより指名され、現地視察を実施した。また、ワールドゲームズフェア98に、ビーチハンドボールが参加する。

(ト)ディベロップメントチームの試験的設置を神奈川県協会に要望、補助金を出して、実施を試みる。

（審判部）

(イ)韓国朴氏と、審判員の日韓交流について話し合い、5月に開催された実業団選手権大会（男子・大阪）に韓国国際審判員1ペアの派遣を戴いた。交互に訪問することを継続していく。

(ロ)今年度の海外審判派遣については、自己研修として1ペア、世界学生選手権大会(女子・男子)にそれぞれ各1ペアずつ派遣。

(ハ)IHFより新ルールに対する意見収集連絡がきているが、返答期限まで日にちがないため、審判部ルール研究委員会にて返答。

3 強化事業本部

(イ)男子ナショナルチームが欧州へ遠征、強化進捗状況についてはおおむね良好であるとの感触を得た。

(ロ)第6回男子アジアジュニア選手権大会、組み合わせ抽選会があり、組み合わせと日程が確定。

(ハ)第13回アジア競技大会（バンコク）の選手団編成数について、40名の内示がJOCよりあった。

(ニ)第4回ヒロシマ国際ハンドボール大会の大会要項が確定。

(ホ)'98ジャパンカップを愛知県協会50周年記念国際大会として開催、大会要項(案)が作成された。

(ヘ)オーストラリア協会より要請を受けていたが、湧永製薬チームが遠征することになった。

(ト)男女全日本実業団選抜チームが欧州に遠征、強化面で有意義であった。

(チ)日中韓高校交流について、団長として千野氏、男子チームは横浜商工高校、女子は洛北高校を派遣する（8月25日～29日）

各連盟、ブロックより報告

①学生連盟

(イ) 連盟名簿を配布、会長の交代、理事の変更があった。

②高校体育連盟

(イ)今年度より選抜大会は大阪で開催するべく準備中。

(ロ)来年度インターハイ(盛岡)は50回記念大会となるため、記念式典、パーティー、記念誌発行を検討中。詳細は別途案内する。

③教職員連盟

(イ) 教職員大会は本年度は福島（石川町）、来年度は山口（徳山市）で開催予定。

④実業団連盟（代理）

(イ)全日本実業団選抜チームの欧州遠征実施。

⑤関東ブロック

(イ) 会長が高橋氏（群馬）に交代した。

⑥東海ブロック

(イ)来年度クラブ選手権西地区について、静岡県開催の了承を取った。

⑦中国ブロック

(イ) 役員登録料の件は早期決定、早期連絡を希望する。また、大会要項作成の際、役員兼任選手の扱いをどうするか、検討要望。

⑧四国ブロック

(イ)実業団チームがない、中学生の登録が少ないなどの問題解決に向け、対応策検討中。

その他

①ナショナル選手育成基金について

ナショナルジュニアに選ばれても個人負担や家庭の事情で断念するケースが見受けられるため、前記名称の奨学制度を設けていくことを日本リーグオーナー会議に提案、賛同を得たいとの報告。

②主要全国大会要項について

第3回ジャパンオープントーナメント、第18回全国クラブ選手権大会東地区及び同西地区の大会要項について説明。

③国体ブロック別参加枠の承認方法について

標記の件について次年度(熊本)についても、従来通りの方法にて進めることを確認。

■斎藤名誉会長

オリンピックオーダー金賞を受賞

(財)日本ハンドボール協会名誉会長であります斎藤英四郎氏は、このほどオリンピックムーブメントに功績があった方に送られるオリンピックオーダー金賞を受賞なされました。オリンピックオーダー賞には、金賞と銀賞があり、特に金賞は世界でもまだ数十人しか授与されていない程の価値の高いものであります。日本に於いては、堤ＪＯＣ名誉会長に続く、２人目の快挙であります。我々ハンドボール界では、平成８年に現荒川名誉顧問が銀賞を受賞されており、ご存じの方も多いかと思います。

この斎藤名誉会長のオリンピックオーダー金賞受賞を祝う会が、７月３日（金）に、日本オリンピック委員会、日本体育協会、日本リーグオーナーを始め、全国各地から多数の参加を得て盛大に開催されました。ＮＨＫの山本哲也アナウンサーの司会のもと、米倉日本ハンドボール協会会長の挨拶に始まり、安西日本体育協会会長のご挨拶があり、ＪＯＣ八木専務理事のオリンピックオーダー賞の意義についてのご説明とご挨拶が述べられました。

続いて、国際オリンピック委員会サマランチ会長、ＪＯＣ堤名誉会長、長野県知事の祝電が披露され、斎藤名誉会長の謝辞が述べられました。この後、荒川名誉顧問の乾杯の後、懇談に入りました。懇談の最中に来賓の方々から祝辞が述べられ、日本ハンドボール協会渡邊副会長の中締めの挨拶の後、散会となりました。

日本ハンドボール協会では、ご高齢ではあらせられますが、斎藤名誉会長の今後の益々のご活躍とご健康を祈念し、オリンピックオーダー金賞受賞をお祝いいたします。







男女アジアジュニア選手権大会開催迫る

男子ジュニア

第12回男子ジュニア世界選手権(99年8月・カタール)を兼ねている。参加チームは7月号での既報どおり10ケ国が参加する。世界選手権への参加権は3チームであり、熾烈な戦いが予想される。西アジアでの開催でもあり、ナショナルチームも多くの苦杯をなめた多くの経験が日本チームにはある。また暑い気候と慣れない環境の中、役員、選手たち日本チームには苦しい戦いになることが予想されるが、是非、出場権を獲得してきていただきたい。

女子ジュニア

第12回女子ジュニア世界選手権(99年8月・中国)のアジア予選を兼ねている。参加チームは日本、韓国、中国、カザフスタン、中華台北の5ケ国。上位2チームに出場権が与えられる。しかしながら、実際には中国開催のための開催枠と、1997年コートジボアール大会で韓国(5位)、日本(8位)に入賞しているために参加5チームの全てが世界大会に出場することが出来る。このため、大会の焦点は順位争いに絞られることになる。初の日本開催でもあり、日本チームの活躍を期待したい。

男子アジアジュニア選手権過去の成績結果

開催年	1988年	1990年	1992年	1994年	1996年
開催地	シリア	イラン	中国	シリア	アラブ首長国連邦
1位	韓国	中国	韓国	カタール	アラブ首長国連邦
2位	クウェート	韓国	クウェート	バーレーン	サウジアラビア
3位	シリア	シリア	日本	サウジアラビア	カタール
4位	台湾	日本	台湾	韓国	韓国
5位	カタール	台湾	中国	日本	バーレン
6位	アラブ首長国連邦	イラン	カタール	アラブ首長国連邦	日本
7位	日本	カタール		シリア	オマーン
8位	パレスチナ	インド		クウェート	イラン
9位	イラン			中国	中国
10位					クウェート

女子アジアジュニア選手権過去の成績結果

開催年	1990年	1992年	1995年	1996年
開催地	中国	中国	韓国	中国
1位	韓国	韓国	韓国	韓国
2位	台湾	北朝鮮	中国	中国
3位	中国	中国	日本	日本
4位	日本	日本	台湾	
5位	インド	台湾		

第6回アジア男子ジュニア選手権試合日程

日	組み合わせ	組	ラウンド	日	組み合わせ	組	ラウンド
1998年8月25日(火)	オマーン対バーレーン UAE対カタール	A A	予選	1998年9月1日(火)	韓国対台湾 クウェート対日本	B B	予選
26日(水)	台湾対クウェート サウジアラビア対韓国	B B	〃	2日(水)	バーレーン対UAE 中国対オマーン	A A	〃
27日(木)	UAE対中国 カタール対バーレーン	A A	〃	3日(木)	サウジアラビア対日本 韓国対クウェート	B B	〃
28日(金)	日本対韓国 台湾対サウジアラビア	B B	〃	4日(金)	休日		
29日(土)	カタール対オマーン バーレーン対中国	A A	〃	5日(土)	Aグループ1位対Bグループ2位 Bグループ1位対Bグループ2位		本戦
30日(日)	クウェート対サウジアラビア 日本対中国	B B	〃	6日(日)	Aグループ3位対Bグループ3位 Aグループ4位対Bグループ4位		5、6位決定戦 7、8位決定戦
31日(月)	中国対カタール オマーン対UAE	A A	〃	7日(月)	第21戦敗者対第22戦敗者 第21戦勝者対第22戦勝者		3、4位決定戦 決勝戦

※女子の日程は8頁に

アジアジュニア選手権大会 監督の抱負

男女アジアジュニア選手権大会まで１ケ月を切りました。チームは大会に向け最終調整に入っています。現在のチーム状況から戦い方、大会に向けての抱負を両監督よりコメントをいただきました。

第6回アジア男子ジュニア選手権大会に向けての抱負

全日本男子ジュニア監督　**高橋精一**（桃山学院高等学校）

前回までの課題であった、国内大会（国民体育大会ブロック予選、東西インカレ）との日程調整が配慮され、選考された選手全員が本大会に出場できることになりました。ご配慮いただきました関係者の皆様に感謝いたします。

メンバー構成は、実業団3、大学12、高校1の合計16名の選手団です。窪小谷選手（日体大）の197cmを筆頭に平均身長184cmと例年に比較して大型チームとなりました。昨年2月の韓国（圓光大学）遠征から始まり、6月28日大崎電気での強化合宿とを通して技術の向上を図りました。その結果として、それぞれの持ち味を生かしたポジショニングと精神面でのまとまりのある「1つのチーム」に成長しつつあります。

攻撃（速攻）面ではセンター沢田選手（国士館）が軸となり、多彩なパスワークからのアシストにタイミングを合わせる、ロング、ミドルシューターの小倉選手（日体大）とポスト阪選手（大経大）をポイント源とし、さらには、左利きの前田選手（日体大）、山口選手（桃山大）をどの様に組み合わせるかが鍵となるでしょう。速攻陣は、柳本選手（日体大）、石川選手（大体大）が脚力、体力共に抜群の能力を持っており、GK高木選手（日体大）からのボール出しによる得点が計算できます。

一方防御では、チームの主将であり、守りの要となる高木選手（GK）を軸とし、190cm4名を横一線に並べた高い一線ディフェンスと、筆吉選手（北陸高）をトップに置いた1・2・3ディフェンスの2つのシステムで、対戦相手の攻撃状況に応じて使い分ける準備をしています。

以上が現在のチーム状況と、注目選手、試合の展望です。中東でのアジア大会開催（バーレーン）においては、日本ではとうてい考えられないような出来事が当然のごとく起こります。過去の大会での経験を最大限に生かし、予測できることのすべてを選手たちには伝達し、指導し、残された日で調整をしていきたいと思います。尚、選手たちの体調と現地での環境への順応を考慮して8月18日、バーレーンに向けて出発します。現地に於いて調整合宿を実施し、万全の状態で大会に挑む計画でいます。

苦しい環境下での大会ではありますが、世界選手権出場枠3つのうちの1つを獲得できるよう役員、選手一丸となって頑張っていきます。ご声援よろしくお願いいたします。

全日本男子ジュニア選手名簿

【スタッフ】

役職	氏名	所属	役職	氏名	所属
団長	北岡　大覚	日本協会理事・B級コーチ	トレーナー	平木　強志	濱脇病院
監督	高橋　精一	桃山学院高校	レフリー	後藤　登	後藤園
コーチ	玉村　健次	湧永製薬(株)	〃	清水　宣雄	国際武道大学
コーチ	大房　重則	高岡向陵高校	通訳	櫻木　清日	(株)エモック
ドクター	有田　忍	青森労災病院			

	氏名	所属名	身長	体重	利き腕	生年月日	出身校	出身地
1	高木　尚	日本体育大学	189	80	右	78.4. 7	北陸高校	福井県
12	松岡　厚志	本田技研熊本	185	80	右	79.4.22	熊本市商高校	熊本県
2	沢田　俊祐	国士舘大学	180	75	右	79.3.29	明星高校	東京都
3	山口　航	桃山学院大学	177	70	左	78.6.11	明石高校	大阪府
4	石川　博之	大阪体育大学	173	63	右	78.5.16	此花学院高校	大阪府
5	小倉　学	日本体育大学	190	85	右	78.6.27	霞ヶ浦高校	茨城県
6	阪　昭博	大阪経済大学	177	75	右	79.8.16	北陽高校	大阪府
7	前田　誠一	日本体育大学	183	74	左	79.5. 3	浦和学院高校	北海道
8	柳本　義文	〃	172	70	右	80.1.10	久留米付高校	福岡県
9	筆吉　亮介	北陸電力	182	70	右	80.1.13	北陸高校	北海道
10	岡本　敏明	(株)トクヤマ	183	77	左	79.6. 3	岩国工業高校	山口県
11	田中　秀樹	大阪体育大学	191	80	右	79.8. 5	久留米付高校	福岡県
13	畠中　益喜	福岡大学	186	72	右	79.4.13	〃	福岡県
14	長尾　恒宏	桃山学院大学	186	70	右	79.4. 5	北嵯峨高校	京都府
15	窪小谷貴浩	日本体育大学	195	90	右	78.8. 5	学法石川高校	福島県
17	佐々木　優	此花学院高校	182	72	左	80.8.14	高石南中学	大阪府

※最終メンバー（6／28付）

第5回アジア女子選手権に向けての抱負

全日本女子ジュニア監督　井上亮一（夙川学院高等学校）

開催国、日程がようやく決まり、目標を持って取り組める状態になりました。5月20日から25日の期間で候補選手を絞り本格的にスタートしました。チームの方針は、全体的にバランスのとれたスタッフのもと、攻撃面においては菅谷選手（175㎝）、岡田選手（172㎝）、中塚選手（172㎝）を左右のセット攻撃の軸としながら、将来の日本女子界のエース谷口選手（183㎝）にも多くの経験をさせていく方向です。また、速攻、サイド攻撃には加治木選手（158㎝）、玉城選手（158㎝）の個性派のテクニシャンを配置し、日本チームらしいスピードある攻撃ができるよう目指します。ディフェンス面では、キャプテン近藤選手（174㎝）を守りの柱として起用していく方針です。

今回参加の中国、カザフスタンには大型選手が多いため、下がって守っていては上からの攻撃によりチームバランスを崩される恐れがあり、2―3DFシステムで容易に攻撃できない状態を目指します。また韓国、台北などのスピードあるチームには強い当たりを心がけ、スピードに負けないよう対抗していきます。

先に挙げた選手以外にもアジア選手権では十分に持ち味が発揮できる選手を多くエントリーしており、チーム一丸となって戦える準備をしてきました。しかしながら、日本チームは結成して日も浅く、今回が初めての国際試合となる選手がほとんどですので良い結果ばかりを望むのではなく、選手に多くの国際経験を積ませることを目的の一つにおいています。幸い日本開催ということで、選手達は多くの応援を受けることが出来ます。その中で、各人が自分の技術、持ち味を十分発揮できるよう大会まで精神的、技術的な目標を設定し強化をしていきたいと思います。



全日本女子ジュニア選手名簿

【スタッフ】

役職	氏名	所属	役職	氏名	所属
団長	緒方　嗣雄	大和銀行・B級コーチ	コーチ	平賀　達也	暁高等学校・C級コーチ
監督	井上　亮一	夙川学院高校	ドクター	阪田　武志	九州産業医大
コーチ	池本　聡	ジャスコ・C級コーチ	ドクター	阿倍　相子	浜脇整形外科病院

	氏名	所属先名	生年月日	身長	体重	出身高校	出身地
1	浅井友可里	立山アルミ	79.10.4	178	68	四天王寺	大阪府
12	橋本　幸代	大体大	79.9.14	170	61	洛北高校	京都府
16	有間　幸子	浦和実業	80.4.5	183	65	浦和実業	埼玉県
2	近藤　智重	〃	79.3.31	174	63	倉敷中央	岡山県
3	中塚　充子	立山アルミ	76.1.4	172	65	四天王寺	大阪府
4	黒木　智恵	北國銀行	79.1.28	162	67	四天王寺	大阪府
5	佐藤　朋子	大崎電気	79.3.15	171	63	盛岡南高	岩手県
6	菅谷　美奈	ブラザー工業	79.4.22	175	61	養老女商	岐阜県
7	岡田　静香	大和銀行	79.6.28	172	63	初芝橋本	和歌山県
8	進藤　利香	シャトレーゼ	79.6.22	171	60	大曲農高	秋田県
9	加治木暁美	ブラザー工業	79.6.25	157	58	名短付高	愛知県
10	早船　愛子	筑波大学	80.1.23	165	54	氷見高校	富山県
11	三浦みどり	立山アルミ	79.8.14	166	56	聖和学園	宮城県
13	山本由香梨	北國銀行	80.3.28	162	52	〃	福井県
14	冨田　有美	武庫川女	89.5.7	175	61	福井商高	福井県
15	玉城　沢佳	オムロン	79.12.2	157	54	聖和女高	長崎県
17	安心院裕子	オムロン	79.4.19	162	60	大分鶴崎	大分県
18	渡邊　千尋	東海女高	80.7.9	158	57	宮中学校	愛知県
19	丑久保佳奈	昭和学院	80.1.25	158	54	二宮中学	千葉県
20	谷口　尚代	福井商高	82.5.9	183	65	大東中学	福井県

※候補メンバー（7/14付）

第5回アジア女子ジュニア選手権大会に向けて

大阪ハンドボール協会理事長　中村博幸



◆大阪で初めての国際大会

長い歴史ある大阪のハンドボール界で、まさかと思われる方々も多いと思いますが、単発的な国際親善大会は経験してはいるものの、大阪の地での国際大会は初めてということで、大阪ハンドボール協会では緊張と、戸惑いを隠せないのが現在の姿です。国際的な指導者やプレイヤーを数多く出してはいるものの、5日間の国際大会運営の経験者は皆無で、手探り状態で5月12日にアジア女子ジュニア大会のための第1回の理事会を行いました。その中でまず、大会運営のノウハウを勉強することが一番であるということで、市原専務理事からのアドバイスもあり、アジア大会等の運営経験豊富な広島県ハンドボール協会に教えを乞うことになりました。早速、5月の中旬に広島を訪れ、その際には山下泉会長を始め、山本理事長や理事の方々より懇切丁寧に、大会運営の細かいポイントを教えていただき、五里霧中の我々にも展望が見えてきました。

◆手作りの楽しみを……

自分たちの創意工夫で手作りの大会にしていく方がやりがいがあるという、広島協会のアドバイスを持ち帰り、大阪協会で報告会を行い、各係、各分野で動き始めました。競技運営面の構想は昨年の「なみはや国体」の経験を生かし、順調にいったのですが、予算書を立てる段階になって行き詰まりを感じ始めました。急な大会開催の要請で、各方面への後援、援助要請がスムーズにいかず、赤字予算計上でスタートせざるを得なくなりました。そんな折、大阪市の教育委員会事務局のスポーツ部国際競技課及び大阪オリンピック招致推進局のバックアップにより、牛の歩みながら前へと進める展開になってきました。我々の頭の中には、将来の構想があります。2001年の東アジア大会・2008年には大阪オリンピックという……。このように大阪市と手をつないで、大阪協会の幸田良一会長を中心に各種大会を是非とも成功させていく意気込みで努力をしております。6月末には湧永製薬の草井由博社長（全日本実業団連盟会長）から、国内の実業団チームへ援助の呼びかけを行っていただき、我々の気運も一層高まってまいりました。

◆これからの課題と展望

試合会場の件も、是非大阪市の体育館でということで、「舞洲スポーツアリーナ」で行うことが決定したのですが、平日にしか開催できず、観客動員の問題が起こってきました。幸いにして8月31日～9月4日の間は、公立中学校、高校の短縮授業（午前中のみ）であり、何とか中体連、高体連にお願いして観客動員をしていただけることになったのですが、舞洲へのアクセスが悪く、交通手段がバスのみに限られており不便を感じております。市バスの増発で何とか解消できることになったのですが、夜の開催がなく、一般の観客動員は難しいのが現状です。その他困難に感じる点は、通訳の問題です。これも各方面からの好意的な協力を得まして、何とかめどがついてきました。今後、7月に行われるヒロシマ国際大会を視察に行き、今まで一般客の立場で見ていた国際大会を、運営する側にたって勉強させていただきたいと思っております。大会運営面を含めて、まだまだ未熟な大阪ハンドボール協会ですが、アジアジュニア大会成功に向けて努力いたしますので、各方面からのご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

熊本、広島に追いつけ追い越せをスローガンに頑張ります。

第5回アジア女子ジュニア選手権大会組合せ結果

日　程	試合時間	対　戦		
8月31日(月)	14：30～	チャイニーズタイペイ	VS	日本
	16：30～	中国	VS	韓国
9月1日(火)	14：30～	カザフスタン	VS	韓国
	16：30～	チャイニーズタイペイ	VS	中国
9月2日(水)	14：30～	日本	VS	中国
	16：30～	カザフスタン	VS	チャイニーズタイペイ
9月3日(木)	14：30～	韓国	VS	チャイニーズタイペイ
	16：30～	日本	VS	カザフスタン
9月4日(金)	14：00～	中国	VS	カザフスタン
	16：00～	韓国	VS	日本

大会会場は、すべて大阪・舞洲スポーツアリーナにて開催

第2回日韓スポーツ交流事業計画決まる

2002年ワールドカップサッカーの日韓両国の共同開催を機に、幅広い年齢層を対象にスポーツ交流を実施することにより、日韓両国の親善と友好をより一層深め、両国のスポーツ振興を図る目的で交流事業が行われています。事業は（財）日本体育協会と（財）日本オリンピック委員会が主催し、文部省の後援のもと、日本ハンドボール協会の主管で行われます。

今回は、チームの派遣については男女いづれか1チームに決まりハンドボールを始め、体操、レスリング、卓球、バレーボール、水泳の各種目のジュニア選手が相互交流を行います。交流方法は日韓両国の代表団員が互いの国を訪問し、合同合宿や試合を行い、様々な交流も計画されています。

ハンドボール競技では、8月11日～16日まで韓国女子ジュニアチームが来日し、神奈川県横浜平沼記念体育館（三ツ沢公園内）を会場に合同合宿、試合を行います。

更に8月24日～29日まで全日本女子ジュニア（U－16）が訪韓します。今回の日韓スポーツ交流事業としては女子チームのみで、男子チームについては日本協会の強化事業として同時期に派遣し合同合宿を実施します。

役員、選手は以下の通りです。

団長　真田元（財）日本中体連部長）
男子監督　佐々木英明（奈良上中学校、日本中体連近畿ブロック長）
男子コーチ　逢阪静男（大阪体大附属中学校）
男子コーチ　北川雄士（此花学園高校）
女子監督　高野郁代（明倫中学校）
女子コーチ　石塚廣一（埼玉県吉川町立吉川中央中学校）
女子コーチ　池本聡（ジャスコ・C級コーチ）
女子コーチ　志賀良弘（大和銀行・C級コーチ）

平成10年度U-16選手名簿（男子）

選手	氏　名	出身中学 進学先	身長 体重	左右
1	仲原　元樹	浦添市立 浦西中学校 沖縄県　興南高校	172 57	右
2	岡田　健	浦添市立 神森中学校 沖縄県　興南高校	164 51	左
3	藤山　岳士	岩国市立 通津中学校 山口県　岩国工業高校	176 65	右
4	井田　博孝	大阪体育大学付属中学校 大阪府　此花学院高校	179	右
5	北野　健太	大阪体育大学付属中学校 大阪府　此花学院高校	180	右
6	池永　勇気	大阪体育大学付属中学校 大阪府　此花学院高校	177 70	左
7	大阪　直樹	国立市立国立第一中学校 東京都　明星高校	178	右
8	岡野　泰志	水海道市立 西中学校 茨城県　伊奈高校	178 66	右
9	黒沼　仁	東根市立 第一中学校 山形県　東根工業高校	177 65	右
10	志賀　勇亮	高石市立 高石中学校 大阪府　桃山学院高校	186 70	右
11	川床　充弘	高石市立 高石中学校 大阪府　桃山学院高校	182 70	右
12	板野　俊介	徳山市立 住吉中学校 山口県　下松工業高校	174	左
13	大木麻左毅	生駒市立 緑ケ丘中学校 大阪府　桃山学院高校	180 68	左
14	奥山　健二	東根市立 東根第一中学校 山形県　東根工業高校	166 60	左
15	中山　亮	茨城県 鬼怒中学校 茨城県　伊奈高校	182 70	左右

平成10年度U-16選手名簿（女子）

選手	氏　名	出身中学 進学先	身長 体重	左右
1	関　ひとみ	宇土市立 鶴城中学校 熊本県　松橋高校	162	右
2	阿部　佳織	大分市立 明野中学校 大分県　鶴崎高校	162	右
3	加藤　麻衣	大阪市立 大正東中学 大阪府　四天王寺高校	158	右
4	木村　麻里	小杉町立 小杉中学校 富山県　高岡向陵高校	162	右
5	真野　絵里	小杉町立 小杉中学校 富山県　高岡向陵高校	160	右
6	大森さやか	小杉町立 小杉中学校 富山県　小杉高校	167	右
7	南部　千晶	福井市立　大東中学校 福井県　福井商業高校	161	右
8	木下　知香	福井市立　大東中学校 福井県　福井商業高校	159	右
9	宮崎さとみ	水海道市立 西中学校 茨城県　水海道第二高校	165	右
10	野島さやか	国立市立国立第二中学校 東京都　佼正学園高校	172	右
11	千葉　歩	春日部市立 大増中学校 埼玉県　浦和実業学園高校	166	左
12	藤間かおり	大分県 原川中学校 大分県　鶴崎高校	172	右
13	長野かづさ	岩手県 松園中学校 愛知県　名古屋短期大学付属高校	160	右
14	宮ノ腰愛子	岐阜県 日枝中学校 愛知県　名古屋短期大学付属高校	160	右
15	広沢つかさ	大分県 明野中学校 大分県　筑紫女学園	164	右
16	竹林　千秋	富山県 氷見南部中学 富山県　氷見高校	162	右

緊急提案

まもなく始まる日本リーグでストックランとヴォルを満員の観客で迎えよう！

熊本県ハンドボール協会　副会長　井　薫

時あたかも、ワールドカップに沸くフランスからの、超満員の観客に囲まれたサッカーのゲームが報じられているが、日本のハンドボール関係者は、昨年の熊本での、男子世界選手権大会を体験していなければ、このフランスの熱狂的な雰囲気に、ただ、ただ圧倒されるのみであったろう。

しかし、グローバルな競技の盛り上がりはあんなものだし、本来ゲームの持つ面白さでは、ハンドボールも決して負けてはいないとの自信を、昨年多くの観客の方々からの反応で、持ち得た事は嬉しい限りだ。

その意味で今年の日本のハンドボール界に於ける最大の朗報は、何といっても本田技研鈴鹿でプレイする、フランスからの世界のトッププレーヤーの2人の来日であろう。

ステファン・ストックランとフレデリック・ヴォルの、2人の輝かしい実績、プロフィールは、すでに多くのメディアで紹介されておりここでは省くが、朗報であると同時に、我々は何をすべきか、大きなテーマとして捉えたい。

今回のワールドカップを見て感じる事は、サッカー以外のスポーツで、あの賑わいに今一番近い所にいるのは、野球でもバレーでもバスケでもなく、まぎれもなく我がハンドボールであろうと思える。

競技の類似性のほかに、各大陸で予選を経て行う大会システム、工夫を凝らした各国のサポーターの多彩な応援、強烈なシュート、それに身を呈して守ろうとするゴールキーパーの美技、いずれもハンドボールの会場で楽しめる部分である。

結論から云えば、「今年の本田技研のゲームはすべての会場を満員にしたい。」

それは、遠来の彼らへの熱きメッセージであると共に、満員の観客のなかでプレーヤーとサポーターが一体となる雰囲気こそが、彼らの世界の技を最高に発揮する場所に他ならないからである。

まずは本田技研の会場のみのフィーバーでも、その波及効果はきっと日本リーグの各カードを、全日本総合選手権を、活気あふれる会場に変貌させる効果につながると思えるし、便乗大いに結構ではないか。

私がどのような立場でこの提言をしているのか少し説明したい。

近くは、昨年全国の皆様に大声援をいただいた熊本の男子世界選手権大会に、熊本県協会、また日本協会の立場で大会の招致から、運営に携わった者として。

旧くは昭和51年、モントリオール・オリンピックに日本は男女チームで参加、それを記念する形でスタートした日本リーグの発足に関わり、6年経過した昭和57年の第6回リーグから大崎電気のオーナーの先代の渡邊和美氏と共に、大崎電気は韓国の李相玉、李京姫、立石電機（現オムロン）は旧ユーゴのイレッシュ・カティツアの外国人プレーヤーの入部を図り、日本リーグを発展させる事に腐心した立場で。

それ以降は男女のチームのレベルアップに、外国からのパワーは大きな役割を果たす事になるが、特に3年前のイズミの林五卿や、今回の本田技研鈴鹿のようなトッププレーヤーの登場の企画に共鳴する者として。

さて、会場に多くの観客をの手段だが、まずは日本協会が今年の最重要テーマとしての自覚を強くして、全国展開でのキャンペーンと、開催県協会との綿密な行動プランを起案、また周辺地域からの観戦への依頼等、日本協会の組織をあげて取り組む事をベースに、開催地は登録チームを軸にOB、OGへのアプローチ、近くの日本リーグの各社にも格別の協力を依頼、各チームも同会場の場合はゲーム終了後も、居残って観戦する事への配慮等、キメ細かな運営をすれば、きっと会場は多くの観客で埋めつくされると思う。

そして一度足を運んだ人は、きっとリピーターとなって再び観戦

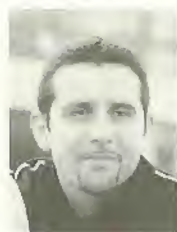
をしてもらえるであろうし、それだけの魅力は充分あると思う。

もうひとつ不可欠な事は、本田技研鈴鹿の対戦相手がそれぞれに、チーム力をアップさせて挑戦の姿勢を鮮明にする事で、レベルの高いハンドボールのゲームと多くの観客の実績が重なれば、メディアも相応の関心を示す事は予測されるし、その事こそが世界選手権大会の成功に合わせた、日本協会のタイムリーな施策ではないだろうか。

ハンドボールのメジャー化、すでに言い古された感すらあるこの言葉、何を、どんな形で、予算はといったハードルは、案じるばかりではいつまでもクリアは出来まい、ともかく行動のこんなビッグなチャレンジの本田技研鈴鹿のチームに拍手を贈りたい。

『言葉の問題や生活環境の違いなど、色々な障害がある事は確かだけれど、それをチームの全員で乗り越える使命が、こうして素晴らしいプレーヤーを迎えた我々にはあります』これは前述の16年前にイレッシュ・カティツア選手を迎えた際の、記者の問いに応えたものだが、このコメントを本田技研鈴鹿のチームの皆様に贈り、そして全国の皆様に日本リーグへの関心度を高めて、会場に足を運んでいただきたいお願いをして結びとしたい。

選　手　紹　介



ステファン・カミーユ・アンドレ・ストックラン

Stephane, Camille, Andre, Stoecklin

身　　長：185cm

利 き 腕：左

ポジション：右45　フローター

生年月日：1969年1月12日

出 生 地：ブルゴワン＝ジャイユー（フランス）
Bourgoin-Jaillieu(France)

国　　籍：フランス
French
1993年5月22日、イザベル・ストックランと結婚、子供なし

学　　歴：1986年～1988年　シャンベリー、スポーツ・エテュード体育専門学校。
Sports Edudes Chambery 1986-1988
ハンドボール・コーチ国家免除BF1、2及び3。

スポーツ歴：～1986年　ブルゴワン・ジャイユーにて選手
Bourgoin-Jaillieu (France)

1986年～88年　シャンベリーにて　player in Chambery

1988年～91年　モンペリエにて選手　player in Monrpellier

1991年～94年　ニームにて選手　player in Nimes

1994年～96年　PSGパリにて選手　player in PSG Paris

1996年～98年　ドイツ、ブンデスリーグ・ミンデンにて選手
97／98年ブンデスリーグで断突の得点王
player in Minden, Germany

1992年：バルセロナオリンピック…3位

1993年：スウェーデン世界選手権…2位

1995年：アイスランド世界選手権…1位　得点ランク7位

1996年：アトランタオリンピック…4位　得点ランク2位

1997年：熊本選手権　…3位　得点ランク5位

＊92年より常にフランスナショナルチームの主力メンバーとして活躍、97年世界ハンドボール最優秀選手に選ばれた。



フレデリック・ヴォル

Frederic　Volle

身　　長：197cm

利 き 腕：右

ポジション：左45　フローター

生年月日：1966年2月4日

出 生 地：モンペリエ（フランス）
Montpellier(France)

国　　籍：フランス
French

学　　歴：1981年～1984年　スポーツ・エテュード体育専門学校。
Sports Edudes Chambery 1981-1984
ハンドボール・コーチ国家免除BF1、2及び3。

スポーツ歴：1981年～1992年　ユザム・ニーム・クラブにて選手
player in CLUB USAM　NIMES (France)

1992年～96年　オリンピックマルセーユ・ヴィトロルにて選手
player in Olyimpic Marseille VITROLLES

1996年～98年　ドイツ、ブンデスリーグ　ヴァラオ・マッセンハイムにて選手
player in SG WALLAU MASSENHEIM

1992年：バルセロナオリンピック…3位

1993年：スウェーデン世界選手権…2位　得点ランク24位

1995年：アイスランド世界選手権…1位　得点ランク32位

1996年：アトランタオリンピック…4位　得点ランク3位

＊92年より常にフランスナショナルチームの主力メンバーとして活躍

フランス選手としては、初めてドイツ、ブンデスリーグに参加先駆者となる。

※アンドレ・ストックラン選手の表記について
'98男子世界選手権時には「ストイックラン」と表記しておりましたが、より母国での発音に近づけるため表記を「ストックラン」としました。

第3回 ジャパンオープントーナメント

男子の部組合せ表

平成10年8月6日(木)～9(日)

本：鹿本町民体育館　央：鹿央町公民館　山：山鹿市総合体育館

1日目 8/6	2日目 8/7	3日目 8/8	4日目 8/9	3日目 8/8	2日目 8/7	1日目 8/6
①香川クラブ(香川)・②桜門クラブ(東京) 本① 10:30	本① 10:00	本① 10:00	決勝戦 央② 10:30	央① 10:00	央① 10:00	央① 10:30 ⑰大同クラブ(愛知)・⑱西宮東クラブ(兵庫)
③山口県教員団(山口)・④岩手教員クラブ(岩手) 本② 11:55						央② 11:55 ⑲東根クラブ(山形)・⑳徳山クラブ(山口)
⑤SOCIO大阪(大阪)・⑥ゆめクラブ(神奈川) 本③ 13:20	本② 11:30				央② 11:30	央③ 13:20 ㉑滋賀クラブ(滋賀)・㉒パームヒルズクラブ(沖縄)
⑦小松ウェンズデー(石川)・⑧ホンダクラブ(三重) 本④ 14:45		本③ 14:10		央③ 14:10		央④ 14:45 ㉓埼玉教員クラブ(埼玉)・㉔かつらおクラブ(長野)
⑨京都教員クラブ(京都)・⑩日川クラブ(山梨) 本⑤ 16:10	本③ 13:00	本② 11:30	3位決定戦 央① 9:00	央② 11:30	央③ 13:00	央⑤ 16:10 ㉕エルムクラブ(北海道)・㉖熊本教員クラブ(熊本)
⑪ケーブルネット氷見(富山)・⑫長崎クラブ(長崎) 本⑥ 17:35						央⑥ 17:35 ㉗新田クラブ(愛媛)・㉘茨苑クラブ(茨城)
⑬わかくさクラブ(奈良)・⑭市枝商クラブ(岐阜) 山① 10:30	本④ 14:30				央④ 14:30	山③ 13:20 ㉙丸八クラブ(島根)・㉚みかん倶楽部(栃木)
⑮湯沢ハンドボールクラブ(秋田)・⑯コザクラブ(沖縄) 山② 11:55						山④ 14:45 ㉛宮崎フェニックス(宮崎)・㉜福島クラブ(福島)

女子の部組合せ表

平成10年8月6日(木)～8(土)

山鹿：山鹿市総合体育館　　オムロン：オムロン鹿陽センター

1日目 8/6	2日目 8/7	3日目 8/8	2日目 8/7	1日目 8/6
①かながわガビアーノ(神奈川)・②小松クラブ女子(石川) オムロン① 10:30	オムロン① 10:00	決勝戦 山鹿② 10:30	山鹿① 10:00	オムロン⑤ 16:10 ⑨函館ホッパーズ(北海道)・⑩びわこLakers(滋賀)
③京都教員クラブ(京都)・④名古屋クラブ(愛知) オムロン② 11:55	オムロン③ 14:10		山鹿③ 14:10	オムロン⑥ 17:35 ⑪白梅三英美会(岩手)・⑫熊本クラブ(熊本)
⑤SAKURAクラブ(東京)・⑥大農OG(秋田) オムロン③ 13:20	オムロン② 11:30	3位決定戦 山鹿① 9:00	山鹿② 11:30	山鹿⑤ 16:10 ⑬香川銀行T・H(香川)・⑭コスモスピッキーズ(大分)
⑦徳山クラブ(山口)・⑧宮崎クラブ(宮崎) オムロン④ 14:45				山鹿⑥ 17:35 ⑮三重教員クラブ(三重)・⑯自衛隊体育学校(埼玉)

第41回 全日本教職員大会組み合せ

8月10日～13日　石川県・石川町総合体育館

男子組合せ(リーグ)

A	埼　玉	ゆ　め	長　野
埼玉フェニックス		1	2
ゆめクラブ			3
長野教員			

B	福　島	群　馬	岩　手
愛知教員		4	5
群馬教員			6
岩手教員ハンドボールクラブ			

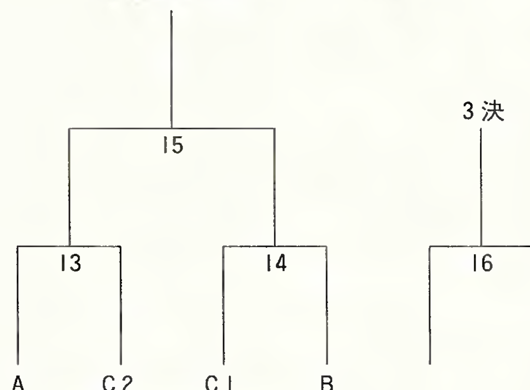
C	福　島	千　葉	栃　葉	愛　媛
福島クラブ		7	8	9
千葉教員			10	11
栃の葉クラブ				12
愛媛教員クラブ				

女子組合せ(リーグ)

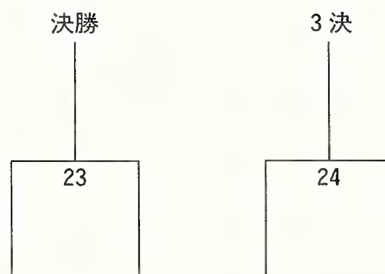
a	京　都	かながわ	山　口
京都教員		17	18
かながわガビアーノ			19
山口クラブ			

b	大　阪	埼　玉	福　島
SIGOTO-NTN		20	21
埼玉教員白小鳩			22
FUKUSHIMA			

男子決勝トーナメント



女子決勝トーナメント



第一日

		Aコート		Bコート	
試合	時　間	試合番号	対戦カード	試合番号	対戦カード
1	10:00～	8	福島－栃の葉	11	千葉－愛媛
2	11:15～	3	長野－ゆめ	6	群馬－岩手
3	12:30～	19	かながわ－山口	22	埼玉－FUKUSIMA
4	13:45～	9	福島－愛媛	10	千葉－栃の葉

第二日

		Aコート		Bコート	
試合	時　間	試合番号	対戦カード	試合番号	対戦カード
1	10:00～	1	埼玉－ゆめ	4	愛知－群馬
2	11:15～	17	京都－かながわ	20	SIGOTO－埼玉
3	12:30～	3	福島－千葉	12	栃木－愛媛
4	13:45～	2	長野－埼玉	5	愛知－岩手
5	15:00～	18	京都－山口	21	SIGOTO－FUKUSIMA

第三日

		Aコート		Bコート	
試合	時　間	試合番号	対戦カード	試合番号	対戦カード
1	9:00～	13	A－C2	14	C1－B
2	10:15～	23	a1－b1(女決)	24	c2－b2(女3決)
3	11:40～	15	－　(男決)	16	－　(男3決)

平成10年度　全国高等学校総合体育大会

高松宮賜杯　第49回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

組合せ表
〈男子〉

A徳島市立体育館
B徳島文理大学体育館
C城北高校体育館
D城南高校体育館
E徳島商業高校体育館

左ブロック	右ブロック
横浜商工高等学校(神奈川)	大分国際情報高等学校(大　分)
岡崎城西高等学校(愛　知)	学校法人石川高等学校(福　島)
県立鹿児島工業高等学校(鹿児島)	清水市立商業高等学校(静　岡)
県立池田高等学校(徳　島)	県立小山南高等学校(栃　木)
県立境高等学校(鳥　取)	県立総社高等学校(岡　山)
県立野辺地高等学校(青　森)	県立紀北農芸高等学校(和歌山)
県立伊奈高等学校(茨　城)	高岡向陵高等学校(富　山)
育英高等学校(兵　庫)	大谷高等学校(京　都)
県立松山工業高等学校(愛　媛)	浦和学院高等学校(埼　玉)
県立北村山高等学校(山　形)	県立岡豊高等学校(高　知)
金沢市立工業高等学校(石　川)	県立都城工業高等学校(宮　崎)
興南高等学校(沖　縄)	県立不来方高等学校(岩　手)
北陸高等学校(福　井)	県立松江工業高等学校(島　根)
県立香川中央高等学校(香　川)	北海道函館工業高等学校(北海道)
駿台甲府高等学校(山　梨)	長崎日本大学高等学校(長　崎)
県立河瀬高等学校(滋　賀)	県立羽後高等学校(秋　田)
修道高等学校(広　島)	県立富岡高等学校(群　馬)
県立香椎高等学校(福　岡)	県立岐阜商業高等学校(岐　阜)
中越高等学校(新　潟)	明星高等学校(東　京)
仙台育英学園高等学校(宮　城)	熊本市立商業高等学校(熊　本)
市川高等学校(千　葉)	県立北大和高等学校(奈　良)
県立神埼高等学校(佐　賀)	県屋代高等学校(長　野)
県立四日市工業高等学校(三　重)	県立三好高等学校(徳　島)
比花学院高等学校(大　阪)	県立岩国工業高等学校(山　口)

- A1：岡崎城西 − 県立鹿児島工業
- A8：横浜商工 − A1勝者
- A2：県立池田 − 県立境
- A9：A2勝者 − 県立野辺地
- A15：A8勝者 − A9勝者
- A3：育英 − 県立松山工業
- A10：県立伊奈 − A3勝者
- A4：県立北村山 − 金沢市立工業
- A11：A4勝者 − 興南
- A16：A10勝者 − A11勝者
- A19：A15勝者 − A16勝者
- A7：県立香川中央 − 駿台甲府
- A12：北陸 − A7勝者
- A6：県立河瀬 − 修道
- A13：A6勝者 − 県立香椎
- A17：A12勝者 − A13勝者
- A5：仙台育英学園 − 市川
- A14：中越 − A5勝者
- C1：県立神埼 − 県立四日市工業
- C8：C1勝者 − 比花学院
- A18：A14勝者 − C8勝者
- A20：A17勝者 − A18勝者
- A25：A19勝者 − A20勝者
- C2：学校法人石川 − 清水市立商業
- C9：大分国際情報 − C2勝者
- C3：県立小山南 − 県立総社
- C10：C3勝者 − 県立紀北農芸
- C15：C9勝者 − C10勝者
- C4：大谷 − 浦和学院
- C11：高岡向陵 − C4勝者
- C5：県立岡豊 − 県立都城工業
- C12：C5勝者 − 県立不来方
- C16：C11勝者 − C12勝者
- A21：C15勝者 − C16勝者
- C6：北海道函館工業 − 長崎日本大学
- C13：県立松江工業 − C6勝者
- C7：県立羽後 − 県立富岡
- C14：C7勝者 − 県立岐阜商業
- C17：C13勝者 − C14勝者
- D1：熊本市立商業 − 県立北大和
- E11：明星 − D1勝者
- D2：県屋代 − 県立三好
- E12：D2勝者 − 県立岩国工業
- C18：E11勝者 − E12勝者
- A22：C17勝者 − C18勝者
- A26：A21勝者 − A22勝者
- A28：A25勝者 − A26勝者

平成10年度　全国高等学校総合体育大会

高松宮賜杯　第49回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

組合せ表
〈女子〉

A徳島市立体育館
B徳島文理大学体育館
C城北高校体育館
D城南高校体育館
E徳島商業高校体育館

左ブロック	右ブロック
府立洛北高等学校(京都)	四天王寺高等学校(大阪)
県立青森中央高等学校(青森)	県立増田高等学校(岐阜)
県立横浜日野高等学校(神奈川)	県立香川中央高等学校(香川)
県立巻高等学校(新潟)	県立栃木女子高等学校(栃木)
暁高等学校(三重)	県立郡山東高等学校(福島)
熊本国府高等学校(熊本)	筑紫女学園高等学校(福岡)
県立北村山高等学校(山形)	県立盛岡第二高等学校(岩手)
初芝橋本高等学校(和歌山)	市立守山女子高等学校(滋賀)
県立那覇西高等学校(沖縄)	県立佐世保西高等学校(長崎)
県立松山北高等学校(愛媛)	県立華陵高等学校(山口)
山陽女子高等学校(広島)	小松市立高等学校(石川)
県立山梨高等学校(山梨)	県立富岡東高等学校(群馬)
聖和学園高等学校(宮城)	県立添上高等学校(奈良)
埼玉栄高等学校(埼玉)	北海道釧路西高等学校(北海道)
宮崎女子高等学校(宮崎)	県立鹿児島南高等学校(鹿児島)
県立境高等学校(鳥取)	県立江津高等学校(島根)
県立池田高等学校(徳島)	県立鳴門高等学校(徳島)
高岡向陵高等学校(富山)	昭和学院高等学校(千葉)
県立麻生高等学校(茨城)	県立倉敷中央高等学校(岡山)
県立静岡城北高等学校(静岡)	県立神埼清明高等学校(佐賀)
県立岡豊高等学校(高知)	県立大曲農業高等学校(秋田)
県立大分樽崎高等学校(大分)	文化女子大学付属杉並高等学校(東京)
見屋代高等学校(長野)	県立福井商業高等学校(福井)
尻川学院高等学校(兵庫)	東海女子高等学校(愛知)

試合	対戦
B1	県立青森中央 － 県立横浜日野
B7	府立洛北 － B1勝者
B2	県立巻 － 暁
B8	B2勝者 － 熊本国府
B13	B7勝者 － B8勝者
B3	初芝橋本 － 県立那覇西
B9	県立北村山 － B3勝者
B4	県立松山北 － 山陽女子
B10	B4勝者 － 県立山梨
B14	B9勝者 － B10勝者
B17	B13勝者 － B14勝者
B5	埼玉栄 － 宮崎女子
B11	聖和学園 － B5勝者
B6	県立境 － 県立池田
B12	B6勝者 － 高岡向陵
B15	B11勝者 － B12勝者
D3	県立静岡城北 － 県立岡豊
D7	県立麻生 － D3勝者
D4	県立大分樽崎 － 見屋代
D8	D4勝者 － 尻川学院
B16	D7勝者 － D8勝者
B18	B15勝者 － B16勝者
A22	B17勝者 － B18勝者
D5	県立増田 － 県立香川中央
D9	四天王寺 － D5勝者
D6	県立栃木女子 － 県立郡山東
D10	D6勝者 － 筑紫女学園
D13	D9勝者 － D10勝者
E1	市立守山女子 － 県立佐世保西
D11	県立盛岡第二 － E1勝者
E2	県立華陵 － 小松市立
D12	E2勝者 － 県立富岡東
D14	D11勝者 － D12勝者
B19	D13勝者 － D14勝者
E3	北海道釧路西 － 県立鹿児島南
E7	県立添上 － E3勝者
E4	県立江津 － 県立鳴門
E8	E4勝者 － 昭和学院
D15	E7勝者 － E8勝者
E5	県立神埼清明 － 県立大曲農業
E9	県立倉敷中央 － E5勝者
E6	文化女子大学付属杉並 － 県立福井商業
E10	E6勝者 － 東海女子
D16	E9勝者 － E10勝者
B20	D15勝者 － D16勝者
A24	B19勝者 － B20勝者
A27	A22勝者 － A24勝者

「チャンス！ 〝世界〟を盗もう」

企画・広報委員
早川　文司

日本国内の話題を独占した感のあったフランス・ワールドカップ・サッカーが終わった。予期しないチケットの空売り騒動のおまけまであったが、その一方で、Ｊリーグで活躍している顔なじみのプレーヤーも多く出場し、これまでの大会より身近に感じたことも事実である。また、英国プレミアリーグのアーセナルを優勝させたベンゲル（名古屋）、スコットランドリーグ・セルティークスを10年ぶりの栄冠に導いたヤンセン（広島）やＧ大阪で指揮を執ったコンシリアら、日本にいた指導者らも現地に集っていたということが伝えられた。日本よりも人気者のようで、握手攻めにあったり、サインを多くのサポーターに求められていたらしい。やはりヨーロッパの方が彼らには〝水〟が合っているのかとも思った。

それはともかく、今大会でも世界のスターと言われる偉大なプレーヤーが見せた技は、ため息が出るほど素晴らしいのひと言に尽きた。そうしたワールドクラスのプレーが、日本のハンドボール界にも登場する。本田技研の新戦力、ストックラン、ヴォルの２人だ。ともにフランスの出身で、これまでは本場ドイツのブンデスリーグで活躍していたスーパースター。いずれも95年の世界選手権Ｖメンバーで、とりわけ、97年の世界最優秀選手に選ばれ、現在ではナンバーワンのサウスポーと言われるストックランは、昨年の熊本世界選手権でも来日しているだけに、記憶している方も多いだろう。今から今季の日本リーグでのプレーが楽しみである。

彼らを含め日本リーグでは今、96年の女子世界最優秀選手賞を獲得したイズミの林五卿をはじめ、アジア勢を中心に多くの選手が活躍している。そうした高度なプレーをリーグの選手は、ため息をついてながめているだけでは、あまりにももったいない。すぐれた技術、前向きな姿勢、勝負への執念。学ぶことは目の前にいっぱいあるはずだ。一つでも二つでも盗もうではないか。こんないいチャンスはないし、もったいない。それが日本のハンドボールのレベルアップ、ひいては人気スポーツになる大きなステップになることは間違いない。何はともあれ、彼らのプレーには目を離すまい。

ANA
ANK

全力投球宣言。
全日空のマイレージ

ますます貯めやすい、ますますおトク。

パワーアップ・マイレージ

さらに! 特典がパワーアップ

10,000マイルで

ANAセレクション



15,000マイルから

無料航空券

たとえば
15,000マイルで
国内約130路線の中から
お選びいただけます。

さらに! 貯めやすくパワーアップ

●5月より、ルフトハンザ・ドイツ航空が新たな提携パートナーに。

●国内・海外の提携ホテル数も約930に拡大。

国内では4月から、約180のANAフレンドリーパートナーズと、海外では5月から、5つの海外ホテルチェーンの約750ホテルと提携いたします。















＊上記の海外提携ホテルでは、5月1日から7月31日まで積算対象料金でのご宿泊のホテルマイルが2倍カウントされるボーナスマイルを実施いたします(ハイアットは、アジア・太平洋地域の特定ホテルが対象となります)。

さらに! 飛ぶほど、サービスがパワーアップ

●「プラチナサービス」が多彩な特典で4月よりスタート。



◆5,000マイルのウェルカムボーナス
◆ご搭乗マイルを20%アップ(全日空・エアーニッポン便)
◆ご利用に応じた5,000マイル、10,000マイルのボーナス
◆国内線スーパーシート券、国際線アップグレード券、空港ラウンジのご利用など

全日空・エアーニッポン便を積算対象運賃でご利用いただき、1月から12月のプラチナポイント(国内線は1マイルを2ポイント、国際線は1マイルを1ポイントで換算)が50,000ポイントに達した方に、翌年4月から1年間上記のサービスをご提供いたします。

●さらに'99年4月からは「ブロンズサービス」もスタート。

30,000ポイントに達した方に国内線スーパーシート券などの特典をご用意いたします。

さらに! ANAカードも、機能がパワーアップ

●ANAカード会員なら、ますますマイルがアップ!

全日空・エアーニッポン便をご利用いただくたびに、ワイドカードで区間基本マイレージの15%、一般カードで5%をボーナスマイルとしてプラスいたします。

●"カードマイレージサービス・ショッピングアルファ"スタート!

クレジットによる国内の全日空各支店および空港カウンターでの航空券のお求め・機内販売・高島屋・日本石油SSでのお支払いでさらにマイルがアップします(一部の店舗を除きます)。

今なら、大チャンス! パワーアップ・キャンペーン

実施期間:'98年4月1日(水)~7月16日(木)(ご搭乗分)

抽選で 合計30,000名様に国内線・国際線無料航空券などをプレゼント!

◎期間中、機内にご用意した「専用応募ハガキ」にてご応募ください。詳しくは、応募ハガキをご覧ください。

もれなく 全日空・エアーニッポン国内線全路線で3倍マイル!
●マイル積算対象運賃でご利用いただいたお客様に限ります。

国際線で **お帰りハイヤーサービス**
実施期間:'98年4月1日(水)~9月30日(水)
●全日空欧州線・米国東海岸線をファースト・ビジネスクラスで往復されると成田・関西空港からご希望の場所(130km以内)までハイヤーを無料でご提供いたします。

本キャンペーンに関するお問い合わせは
「全日空キャンペーン事務局」
0120-029-397(ゼン ニッ クウ)
(受付時間9:00~17:30/土・日・祝日を除く)
おかけ間違いのないようお願いいたします。

全日空のご予約お問い合わせは
国内線フリーダイヤル 0120-029-222(ゼンニックウ) または、
国際線フリーダイヤル 0120-029-333(ゼンニックウ) お近くの旅行代理店まで。

ANAマイレージクラブ

詳細についてのお問い合わせは
ANAマイレージクラブサービスセンター
0120-029-767(ゼン ニッ クウ)
(受付時間 9:30~17:00 土・日・祝日を除く)

「ここを見てくれ」

ューを実施、今年度にかける意気込みをご紹介します。
今月号では、1部男子及び1部女子の各8チーム（16チーム）をご紹介します。

男子

湧永製薬監督　河原隆雅

新戦力は、日体大から加入した、田場裕也。

得点能力に優れ、変則のステップシュートやジャンプシュートなど、多彩なシュートテクニックを持ち、フェイント力もありと、レベルの高い個人技術を持っている選手で、即戦力として期待している。

そして、今シーズンは、得点力アップが最大の課題であり、持ち味のDF力をフルに生かし、DFから速攻での速い展開による得点を増やし、2年連続の優勝を目指して、一歩一歩前進して行きたい。

本田技研監督　田口　隆

◎新戦力及びキーマンとなる選手

私たち本田技研には本年度新たに3名の優秀な選手が加わった。

新メンバーは、

佐々木教裕：1974年4月8日生まれ。日本体育大学からの加入。

スケール豊かな大砲として世界選手権でも大活躍。将来日本ハンドボール界の大黒柱として期待大。

Frederic Volle：1966年2月4日生まれ。SG WALLAU MASSENHEIMからの加入。

'95世界選手権優勝メンバーとして実力・人気と共に世界トップレベル。

Stephane Stoecklin：1969年1月12日生まれ。GWD MINDENからの加入。

現在世界最高の左腕シューターとして国際舞台でも活躍し、昨シーズン・ブンデスリーグ得点王。

以上3名の新戦力と昨年急成長したメンバーで最高レベルを目指し、頑張っていきたいと思う。私たちのチームは全員がキーマンである。

大同特殊鋼監督　高村誠一

◎98年日本リーグに向けて

〝昨シーズンの借りは返す〟このことばを胸に、日本一奪回へ向けて、個々の技術・体力アップも順調に進み、力強い大同が今シーズン復活する。

さらに、今年日本リーグで大暴れすること間違いない朴　性立は現在も韓国の代表選手であり、フェイント、シュートテクニックは世界でも十分に通用する。朴の加入によりオフェンスにおいてバリエーションが増え、どこからでも得点が取れるようになった。

中村荷役監督　朴　英大

◎新戦力

(1) 阿部展行（あべ　のぶゆき）

法政大学出身。走・跳・投の能力抜群、変則的なシュートは迫力満点。

(2) 北田　忍（きただ　しのぶ）

大阪体育大学出身。身体は小柄だがシュートテクニック・ハンドボールセンスはピカ一。

◎キーマン

(1) 野村広明（のむら　ひろあき）

もって生まれたハンドボールセンスとスピードのあるフェイント、豪快なロングシュートにご注目。

中村のコントロールタワーに急成長。

◎監督の抱負

スピード感のある攻撃的1・2・3ディフェフェンスを更に強化し1次・2次速攻からのスピードハンドボールを徹底し、得点を狙い一戦一戦を大事に勝ちにこだわって臨みたい。

三陽商会監督　砂川正雄

◎新戦力：田中　将

運動能力抜群で速攻の出も良く、サイドシュートのテクニックもピカイチ、トリッキーな動きで目をはなすとどこにいるのかわからないぐらいの速さ。

◎キーマン：五島宏隆

速攻やミドルシュート、サイドシュート、センス抜群の多彩なパスワークなどサンヨーの司令塔。

◎監督コーチの抱負

今リーグは「勝ちへのこだわり」と全員ハンドボールで一致団結。プレーオフ出場を勝ち取りたい。

日新製鋼監督　湯中　勝

チームは優勝経験を踏まえたベテラン選手と、日本リーグ等試合経験の乏しい若手選手との二極化構造となっていることから、如何にベテランと若手選手をコンビネーション良く調整し、若手選手の育成を図りながら、日本リーグを戦い抜き戦力構成を切り替えていくかが課題であった。

昨年度から積極的に若手選手の起用を行い戦ってきたが、大型選手を中心とした相手0－6DFをセットプレイで切り崩せず、また肝心な局面でのミスが響き勝利できる試合を落とすなど、シュートの決定力やDFの集中力、コンビネーションプレイに課題の残ったシーズンでもあった。

それだけに昨年の悔しさをエネルギーに変え〝プレーオフに向け〟日々挑戦〟をチームスローガンに、徹底した基本プレイの反復練習、基礎トレーニング、自己改革に徹し精神的に粘り強く、何よりもミスの少ないチームを目指して強化を図ってきた。

攻撃では、ベテラン林のゲームメイクを中心にエース坂口、源内、若手の水谷、林原のダイナミックなシュートがフル回転すれば日新ペースに持ち込める。チームの守護神・宇田川の手堅いキーピングを軸に気迫あふれるディフェンダー野中、鮎沢、伊藤に併せた攻撃的なDFから貝田、角谷、嶌本、楠原らの機動力を活かした「守りからの速攻」を主体に得点力アップを図って行く。

ベテランに依存する局面も多々あるが、機動力部隊である若手選手が試合経験を積みながら、如何に得点に絡んで来るかがカギであり、チーム一丸となったチャレンジャー精神で臨み「全員の勝利に対する執念」をアピールし一戦一戦勝ち取って行きたい。

大崎オーソル監督　山本興道（C級コーチ）

◎新戦力及びキーマンの情報と抱負

今年度、新戦力として、ポストプレイヤーの大型新人、国際武道大学出身の東選手とオールラウンドプレーヤーで大阪体育大学出身の小林選手が入った。ともに昨年度苦労したポジションの部分であっただけに期待がかかり、順調に仕上がり、リーグでは力を発揮してくれることと思う。

また、キーマンとしては、左利きで大型ポストプレーヤーの小野和正選手がどれだけのアシスト、得点をしてくれるかで大きく分かれる。

抱負としては、昨年度入れ替え戦で7位と低迷したことをバネに、チーム力で上位進出をねらう。

トヨタ車体監督　宮田裕己

◎新戦力：

●岩本　裕（いわもと　ゆたか）

山口・下松工高→国士館大出

187cm　92kg　CP

●待望の大型新人。攻守の要として活躍を期待。特にDF面での安定感は大型を目指す当社としては、重要な役割を担う。

学生選抜の代表の実力を、日本リーグでも発揮し、当社2年目の清水同様、全日本を目指す気持ちで頑張っ

日本リーグ各チーム監督に聞いた（1）

第23回日本リーグは、10月1日（木）湯沢市総合体育館（秋田県）を皮切りに日本全国で開催されます。機関誌では今月号と来月号の2回に渡って、各チームの監督に緊急インタビ

て欲しい。

● 竹下浩雄（たけした　ひろお）
兵庫・育英高→大体大出
180cm　80kg　CP
●運動能力は抜群、実業団のスピード・パワーに早く慣れ、安定した計算できる選手になって欲しい。
学生時代に培った、攻撃的なセンスを日本リーグに爆発させて当社の得点源としての活躍を期待。

◎キーマン
●松本幸介（まつもと　こうすけ）…
社会人3年目、実業団の水にも慣れ、2年前の1部リーグでの雪辱を期す。
心、技、体とも充実、チームのコントロールタワーとして浮沈を握る男。小さな身体から発するパワーとテクニックで60分暴れ回って欲しい。

◎監督抱負
●チーム一丸となって戦う姿、チームの意欲、またハンドの魅力を見に来てくれた人達が感じとってもらえる試合を常に頭に入れ実践。念願の1部1勝、定着を目指したい。

女子

オムロン監督　西窪勝広

「さらに変わる、さらに変える」をチームスローガンとして、昨シーズンとは変わった新生オムロンとして戦いに臨みたい。

得点25点以上、失点20点以下の永遠のテーマには変わりはないが、GK山口を中心に石、後藤の高い壁を武器にできるデフェンスに変えられるように注力したいものです。

攻撃面では、新加入の中国代表の陳、田口、指野と戦力アップはしたものの、実戦豊かな石、高橋が如何にリードし、彼女達の力を引き出し変身させてくれるかが今シーズンを戦いぬく大きな課題でもある。

両サイドの走りからの得点、主将宮本等がどこからでも得点できるかも大きなウエイトを占めているが、それにもまして逃げることのない闘争心あふれるデフェンスが展開できるシーズンにしたいものである。

北國銀行監督　荷川取義浩

◎新戦力
加藤利英子（小松商業）
●小柄ながら思い切りの良いプレイ（左利き）
山本由香梨（福井商業）
●切れ味抜群

◎キーマン
中村友美
●昨シーズンフル出場した経験を今年に生かし勝負。

◎抱負
●まずは、プレーオフ出場を目標に、一戦一戦を価値ある戦いをしたい。

日立栃木監督　伊藤宏幸（B級コーチ）

◎新戦力
山本佐代子　益田高校卒（岐阜）
163cm　CP
寺中　寛子　四天王寺高校卒（大阪）166cm　CP
立ケ谷枝保　清水市立商業高校（静岡）161cm　CP
種市みどり　盛岡南高校（岩手）167cm　GK

◎キーマン
沖土居真子…人並みはずれた闘志とパワーと躍動感が爆発すればチーム躍進間違いなし！

◎抱負
2年連続プレーオフに進みながら2位、3位と後一歩及ばず、今シーズンもあくまでV1達成を目標に粘り強く挑戦していきたい。

イズミ監督　林　五卿

イズミの新人は、呉成玉選手を含め5人いるが、新戦力として計算できる選手は今のところ立て難いと思う。これから先は、各選手が足りない技術面や体力面を如何に強化し、矯正を図っていくか必死と思う。

以上のことから、今年のイズミにはキーマンとなる選手と言うより、チームワークを如何に発揮できるかが鍵と言える。とにかく、一戦一戦を大切にし、頂点を目指し挑戦する。

大崎オーソル監督　矢内　浩

◎新戦力及びキーマン
今年度加入（第23回）は、即戦力の大卒2名（對馬、酒井）の加入で、これまでになく選手層が厚くなり、昨年までの韓国選手だけが目立つ試合が多かったが、今リーグは、日本選手の頑張りで攻守に厚みが出てきた。また、チーム内でのレギュラー争いが激しくなりチーム全体のレベルアップが図れた。昨年は、DF弱く、OFが強いという攻守のバランスが悪く、勝てる試合を何試合か落とした。今リーグは昨年の苦い経験を生かして「DF面の強化」、「守って速攻」が出せるチームに変身。まずはプレーオフ出場、そして8度目の優勝を目指して頑張る。

大和銀行監督　志賀良弘（C級コーチ）

新戦力としては、チーム全体で昨年のメンバーが3名抜けて3名の新しいメンバーが入ってくる。その中に今年当行に入って来た2人の選手が新戦力と言える。

その1人、倉知光子（東京女子体育大出）学生界のサイドプレーヤーが日本リーグに挑む。跳んで良し、走って良し、打って良しでどのように爆発するか？

もう1人、岡田静香（初芝橋本高出）ジュニアにも選出され、高校を卒業して1年目に日本リーグに挑むチャンスを得た。期待のロングヒッターとして各チームの壁を打ち抜けるか？

黄コーチが新しく加入して、ナショナルチーム同様激しい練習を行っています。ナショナルチームでキャプテンとして頑張る田中を中心に、竹田キャプテンのもと全員一丸となって一戦一戦を大切に挑戦することを忘れずに立ち向かって行くことをチームのスローガンとして臨んで行きたい。

立山アルミ監督　金原　至

確率を高め、運に乗ずる。

コート全体に存在する勝負どころを、選手一人一人に勉強させ主体的に取り組み、自分達で作り上げるプレイを完成させたい。

今年は、プレイオフ進出を目指す。

新戦力として、韓国からスピード抜群の李　姫政、学生界からシュート、カットイン、パスともに日本のトップレベルの児島　愛、高校からは、長身ゴールキーパー浅井友可里など即戦力として期待している。

シャトレーゼ監督　平塚一彦

全員ハンドで1部復帰した今年、正しく新生シャトレーゼが1部チームと同じスタート台に立つことになる。

新戦力は梶田（東女体）、早川（筑波大）の加入で活躍によっては、上位も望めよう。

また、キーマンは何といっても熊谷（大曲農高）で全日本でのヨーロッパ遠征合宿で、一回りも二回りも成長、チームを引っ張ってくれると思う。とにかく形振かまわず死に物狂いで一戦一戦大事に戦っていきたい。

列島縦断

51年目のスタートを更なる飛躍に繋げるために

茨城県ハンドボール協会理事長 大村 久



茨城県協会は昨年、創設50周年を迎え、「50年史」を編纂、12月7日水戸ゴールデンホールを会場に150人余の参列者を集め、盛大に記念式典を行いました。さらに、記念大会として日本リーグを招致しました。私が理事長をお引き受けして最初の大仕事でしたが、多くの方々のご協力により、無事に終えることが出来ました。

就任2年目の今年、私の大きな仕事は諸先輩方の築き上げてきた茨城県協会の歴史を、51年目を新たなスタートとし、更なる発展へと繋げていくことと考えています。その始めとし本年8月に東日本学生選手権を開催することとなりました。さらに、平成14年インターハイが正式に決まり、ハンドボールは水海道市、岩井市、守谷町を会場に開催することになりました。成功のためには市、町との連携はもちろんですが、小学校、中学校、高校など多くの関係者の力を総結集しなければなりません。現在、県内の小、中、高校の各層において、それぞれ全国トップレベルの成績を残すことが出来ています。その力を結集、大会を成功させるため県協会への期待は今後ますます大きくなるでしょう。

小学校・スポーツ少年団

現在、男女併せて5チームの小学生チームが登録をしており、地域の指導者を中心に活動しています。会田会長の地元、守谷クラブ(男子)は平成9年第10回全国小学校大会第3位、関東大会5年連続6回優勝という成績を残し、筑波学園クラブ（女子）も2年連続優勝しました。小学生時代の経験者は中学、高校に進んでも競技を続け、地域のスポーツ活動の中核を形成しています。保護者の皆様の献身的な協力と理解のもと、ちびっ子ハンドボーラーがコートを駆け回る姿には頼もしさと将来への期待を感じます。

中学校

中体連は、男子22チーム、女子19チームが登録しています。小学校時代の経験者の多くいる水海道、守谷地区が健闘しています。全国中学校大会では平成4年水海道中(女子)3位をはじめ、平成5年水海道西中（男子）が優勝、昨年は水海道西中男子準優勝、女子もベスト8に入賞しました。さらに、第6回JOCジュニアオリンピックカップでは辺見芳宏監督率いる茨城選抜（男子）が優勝しました。増田徹前委員長、中里薫現委員長を中心に活動を続けています。

高校

高体連は、男子40、女子31チームが登録しています。男子は新鋭滝川監督の指導する伊奈高校が平成6年以降連続インターハイに出場し、平成7年度選抜では初の全国制覇を成し遂げています。女子は古豪水海道二高を若い岡田監督が指導し、インターハイ連続18回出場記録を成し、関東大会では常に上位入賞を果たしています。更に本年度は阿部浩監督の指導する麻生高校が選抜、インターハイに勝ち進み、今後が楽しみです。昨年度より阿部富夫委員長が就任し、若い指導者達をまとめて、活発な活動を行っています。

一般・大学

高校、大学でプレーした社会人を中心とした21チーム、大学4チームが登録しています。県一般リーグも年々盛んになり、県外大会にチャレンジするチームもあります。5年前より一般連盟が組織され、住谷会長を中心に独立した運営を行い、審判育成にも当たり、着実に底辺の拡大と生涯スポーツへと発展を見せています。常陽銀行や原子力研究所のような実業団をはじめ、クラブチーム、大学等様々なチームが活動しています。また、麻生フェニックスは、ビーチハンドやちびっ子の指導などにも取り組み、地域の活動を支えています。筑波大学、茨城大学はインカレや関東リーグで常に上位を狙う活躍をしています。

まとめ

このように、小学生から、中学、高校、大学、一般と各層に渡り活動をしているのが茨城県の特徴といえるでしょう。さらに、競技スポーツとしてのハンドボールばかりでなく、楽しみ、生涯スポーツとして発展していくことを目指しています。幸い、各層で若手の指導者が育っており、今後の活躍と成長が楽しみです。

第3回男子ヨーロッパ選手権結果

5月29日～6月7日までイタリアのボルツアーノ、メラーノで12ヶ国が参加して開催した。

【予選リーグ】

Aグループ

チーム	勝	引分	敗	得失点		勝点
スウェーデン	4	0	1	130：111	19	8
ドイツ	4	0	1	125：102	23	8
ユーゴスラビア	3	0	2	125：121	4	6
フランス	1	1	3	110：125	－15	3
リトアニア	1	1	3	100：115	－15	3
イタリア	1	0	4	106：122	－16	2

Bグループ

チーム	勝	引分	敗	得失点		勝点
スペイン	4	1	0	135：103	32	9
ロシア	3	1	1	127：110	17	7
ハンガリー	3	0	2	121：122	－1	6
クロアチア	2	1	2	117：120	－3	5
チェコ	1	0	4	130：132	－2	2
マケドニア	0	1	4	104：147	－43	1

【順位決定戦】
イタリア：マケドニア 27：26（11：12）
リトアニア：チェコ 38：36（17：14）
フランス：クロアチア 30：28（16：12）
ユーゴラビア：ハンガリー 32：24（15：12）

【決勝リーグ】
スウェーデン：ロシア 27：24（15：14）
スペイン：ドイツ 29：22（13：9）

スペイン：スウェーデン 23：25（9：15）【1－2位決定戦】
ドイツ：ロシア 30：28（13：14）【3－4位決定戦】

【順位】

1位 スウェーデン	5位 ユーゴスラビア	9位 リトアニア
2位 スペイン	6位 ハンガリー	10位 チェコ
3位 ドイツ	7位 フランス	11位 イタリア
4位 ロシア	8位 クロアチア	12位 マケドニア

第25回高等専門学校ハンドボール選手権大会
実施要項

1　主　　催　（財）日本ハンドボール協会
（社）全国高等専門学校体育協会

2　主　　管　東京都ハンドボール協会
（社）全国高等専門学校体育協会ハンドボール競技専門部
東京工業高等専門学校

3　後　　援　文部省、（財）日本体育協会、東京都教育委員会、（財）東京都体育協会

4　大会期間　平成10年８月１日（土）・２日（日）

5　大会会場　駒沢体育館・駒沢屋内球技場　　住所：東京都世田谷区駒沢公園１－１　電話：03－3421－6121

6　参加資格　(1)　高等専門学校の学生で学校長が出場を認めたもの。
(2)　都道府県ハンドボール協会っを経て、（財）日本ハンドボール協会に加盟登録されたチーム。

7　参 加 校　北海道地区（１校）、東北地区（１校）、関東信越地区（１校）、東海北陸地区（２校）、近畿地区（２校）、中国地区（２校）、四国地区（１校）、九州地区（１校）及び開催校の計12校とする。
ただし、不参加地区が出た場合は、別に定めるところによる。

8　競技規則　平成10年度（財）日本ハンドボール協会競技規則による。

9　競技方法

(1)　予選リーグは、各３チームの４ブロックで実施し、各ブロック１位校が決勝トーナメントに進出する。なお、３位決定戦は行わない。

(2)　予選リーグは延長戦を行わず、勝点２、引き分け１、負け０とし、勝点数の多いチームが上位とするポイント方式とする。

①　勝点が同じ場合、得失点差の多いチームを上位とする。
②　①で決定できない場合は、総得点の多いチームを上位とする。
③　②で決定できない場合は、チーム間の対戦結果、勝ちチームを上位とする。
③　③で決定できない場合は、抽選で決める。

(3)　予選リーグ、決勝トーナメントとも競技時間は25分ハーフとする。(25－10－25)

(4)　決勝トーナメントでの延長戦は５分の休息後５分×２の第１延長戦まで行い、なお決しないときは７ｍスローコンテストで決める。
決勝戦は正規の第２延長までとし、なお決しないときは７ｍスローコンテストで決める。

10　そ の 他

(1)　試合球は、検定球（白黒手縫い42面）を使用する。

(2)　ユニフォームは、各チーム２着用意すること。(同色でないものを用意すること。)

(3)　主将は、左上腕にユニフォームの色と区別できる色の腕章（キャプテンマーク）を付けること。
また、チームの責任者は、ベンチマークを付けること。

(4)　松ヤニ（スプレーを含む）の使用は禁止とする。両面テープの使用は可能である。

(5)　競技場内に立ち入る者は、必ず室内用スポーツシューズを使用すること。

(6)　大会前日（７月31日）の練習コートは、開催校が割り振り、各校に連絡する。なお、大会当日の練習コートは設けない。

(7)　選手の競技中の負傷については、開催校で応急処置を施すが、その後の処置は、当該校で行うこと。(健康保険証及び日本体育・学校健康センター所定の用紙を持参すること。)

組 合 せ

(1)　米子高専、豊田高専、東京高専

(2)　明石高専、八代高専、津山高専

(3)　高知高専、一関高専、和歌山高専

(4)　長岡高専、富山高専、鹿児島高専

試合時間

８月１日（土）／予選リーグ
10：30～18：10

８月２日（日）／準決勝・決勝
準決勝　10：00～11：00
決　勝　12：00～13：00

〈平成10年度第1回ハンドボール研究集会要項〉

「ボール運動教材としてのハンドボール」

目　的：昨今、児童や生徒の体力・運動能力の低下が指摘されているが、教材としてのハンドボールは、子どもたちの発育・発達を促すのに適している。加えて、他のボール運動より、教材づくりや戦術学習が容易である。また、小学1年生から6年生までの子どもたちにとって楽しいボールゲームであり、生涯スポーツへの導入を容易にする。本研究集会では、このようなハンドボールの魅力や特性に対して認識を深めると同時に、子どもたちの発育・発達に見合ったハンドボールの授業づくりについて研修する。

主　催：（財）日本ハンドボール協会

会　期：平成10年8月19日（水）・20日（木）

会　場：名古屋市千種区スポーツセンター
〒464－0803 愛知県名古屋市千種区田代町字瓶杁108－1
（地下鉄東山線「星ケ丘」２番出口、「東山公園」２番出口それぞれ下車徒歩５分）
TEL052－782－0700　FAX052－782－6700

日　程：8月19日（水）
受付　12：00～12：30
開会式　12：30～13：00
研究発表　13：00～14：30
実技研修　14：40～15：50
講演　16：00～17：00
演題「小学校体育の新しい方向とボール運動」
演者・島根大学教授　杉山重利氏

8月20日（木）
講義　9：00～10：00
講師・大阪教育大学教授　土井秀和氏
授業提案　10：00～12：00
閉会式　12：00～12：30

事務局：〒010－8502 秋田市手形学園町1－1
秋田大学教育文化学部スポーツ・健康教育講座
佐藤　靖　気付
TEL018－889－2577　FAX018－899－2577
E－mail　yasushi@ipo.akita－u.ac jp

参加申込：氏名、年齢、勤務先、連絡先住所、電話番号を明記し、ハガキまたはＦＡＸで事務局までお申し込み下さい。
1）参加資格　特に問いません
2）参加費 3,000円（資料代および保険料込み）
（当日受付にて徴収いたします）
3）締切日　平成10年8月5日（水）

発表申込：研究集会のテーマに関係する研究を募集します。発表を希望される方は、必要事項をご記入の上、事務局までご返送下さい。

平成10・11年度登録審判員名簿

平成10・11年度の審判員登録が行われました。各都道府県別の登録数は表の通りです。なお、全国大会の審判を行う資格は規定により国際、コンチネンタル、A級、B級として登録された審判員に限られます。以下に登録された審判員の氏名を掲載します。

【国　際】

小笠原久郎（北海道）、清水宣雄（千葉）、後藤登、浜田浩和（東京）、森敏郎（愛知）、武智誠治、松原誠起（愛媛）

【コンチネンタル】

仲田稔、植村彰（千葉）

【A　級】

林敏夫、佐藤博明、錦織進、棚橋伸男、伊藤徳之、大橋幹正、渡辺邦夫、小野寺昭彦、松崎雅美芳、俵英生、村瀬清史（北海道）、町屋明彦、佐々木孝之、横山繁、工藤茂、丸井誠、浜野徹（青森）、田村登、小笠原忠芳、高橋元一、工藤鉄男、佐藤睦朗、大沢由和、長野和樹、多田和生、千田昭宏、谷藤節雄、中島昭博、柏舘秀一、西郷晃、中舘豊（岩手）、池田加一、守屋賢、照井裕幸、尾形俊賢（宮城）、半田忠、菅野肇、藤原仁志、山中浩、渡部努、高橋一（秋田）、星川威雄、高橋善浩、我孫子功（山形）、斎藤仁宏、田川卓史、小沼慶二、橋本春二、佐藤成紀、福島稔、最上大、上野覚、鈴木琢磨（福島）、菊田政行、細谷安司、北村善夫、福田弘、冨田拓、滝川一徳（茨城）、中山常夫、大出治男、小西正寿（栃木）、譲原昭、栗田与一（群馬）、田村和夫、斉藤政寛、宮沢則夫、山口剛之、土屋雅男、阿部健二、小林一夫、田中英俊、伊藤治也、岩本明、池田勝、牧田実（埼玉）、五味崇恵（千葉）、栗岩淳一、杉山努、佐藤和孝、兼田佳博、加藤益弘、菊池源、酒井伸夫、川口定男、羽田裕一、小山浩、三浦登志雄、江成元伸、村松誠、石塚文男、鈴木慎二、門井隆治、山本興道、菅田信也（東京）、新木康稔、内田孝之、真田元、石川泰弘、吉原雅彦、本田義昭、細井義彦、平野敬樹、松本宏、三辻訓、川本幸治、坪井昇、鈴木和宏、安井定徳、松川純史、滝口真聖、遠藤秀之、吉岡寛之、木村奨、山田啓太、黒沢貞夫、堀越鉄太郎、渋谷正道（神奈川）、市瀬公敬、水越日出夫、笠井邦彦、上小沢仁志（山梨）、鳥谷越洋、小口政則、小山英人、竹内佳明（長野）、光安美津夫、中山光広、森聡、矢田晃章、秀水倫明、小坪新一、小嶋啓新、沢井淳一、徳前紀和、幸塚孝行、宮窪徳近、松田憲蔵、山口弘夫、岩上浩一郎、山本幹雄、大石克哉、坂口毅司（富山）、金森正文、八日市屋進、高田和英、阿部羅大造、浜野大助、古橋幹夫、中村哲、佐野誠一、田村裕志（石川）、庄司勝三、藤井善彦、竹野誠司、角谷喜代重（福井）、細沢覚、岩田善範、内藤岳、清水保雄、片山聡（静岡）、飼沼敏雄、楓健児、河合千丈、岩本晃寿、有賀勝典、木和田浩史、渡辺貞彦、岩橋源治、中野正彦、松原英司、稲石典久、浅野幹也、河合龍二、坪井雅典、杉浦俊孝、神谷真次、溝口博一（愛知）、喜井美男、船谷真和、丸山竜司（三重）、日比丈司、川合常雄（岐阜）、秋永昭治、小林弘和（滋賀）、岩崎孝志、大羽隆夫、小山勉、酒井護、中森雅彦、佐治清隆、国府功、西田充、佐久間良幸（京都）、佐谷光一、村尾亮、吉田敏明、伊藤保仁、杉山和彦、太田寛人、福井孝明、浅井隆志、岸本光夫、尾崎浩祥子、家永昌樹、寺内啓之（大阪）、馬場保夫、濱田浩嗣、吉田正明、松森三樹男、西園友秀（兵庫）、丸谷謙二、奥山政俊、佐川正己、矢野勝弘、金丸雅美（奈良）、尾高義彦、木村真司（和歌山）、里和則、萬場幹男、早田博之、進木丈実（鳥取）、上野幹彦、藤井俊朗、柆田尚子、額田都、中山学、丸川勝巳、三宅秀明、大熨斗嘉彦、赤木利輔、奥山精一、片山欣章、山本圭司（岡山）、奥川和永、長谷実、渡辺巧二、池田尚美、高俊文、万代和孝、久保博、福岡篤紀（広島）、赤地典高、山根安彦、加藤晃、岡村尚明、角直樹、原井進、田原和雄、河田孝一（山口）、佐藤利広、多田宣行、杉山孝広、真嶋洋二（香川）、竹村久晴、柳原勉、田中達男、坂井良至、定岡孝明、東福康浩（愛媛）、中川利彦、岡本憲和、高橋卓也、清水修（高知）、新荘悌男、水上秀憲、山本弘二、前田薫、大和豊、中園嘉彦、森川壽人（福岡）、龍弘美、貞島早苗（佐賀）、得丸光、平原慶二、金子弘明、浦川寿生、岩崎章弘（長崎）、山川潔、福島亮一、坂本達也、藤本幹生、建岡欣也、田中一則、宮瀬知周、北島潤一、大村守也（熊本）、一万田尚登、島村浩信、山地悟、長尾明徳、亀井一寿（大分）、中村利博、松村房夫、石原口秀樹、渡邊正徳、押川幸廣、別府志朗（宮崎）、（鹿児島）、友寄隆男、仲里貢、中地健三、高良政幸（沖縄）

【B　級】

松喜美夫、萩原英俊、見方益夫、清水勝、笹森光明、武田節夫、三栖雅之、稲益仁、武山修、三宮哲也、小越康雄、山崎栄一、加藤慶仁、川村徹治、近嵐成幸、山口工、内田秀昭、米内山壮之（北海道）、諏訪正徳、坪谷雅幸、三浦博英、高井洋、滝口孝之、深堀昇、小塚直毅、藤本幸一（青森）、小田島隆信、吉田国男、岡市武、阿部伸、菊池行、藤村浩行、阿部圭次、工藤里花、外館由美子、小田中達夫、山口淳、鈴木雅史、早坂将、佐藤嘉宏、添田崇（岩手）、佐藤健、佐藤久、菊池敬一郎、満井寿彦、早坂重行、木村篤史（宮城）、佐藤文男、佐藤靖、古関直樹、大沼一義、高橋俊秀、山本力、佐々木桂（秋田）、鎌田聡、岸弘一、遠藤勲、横瀬徳雄、小野恭一、三浦喜久雄、柏崎博之（山形）、寺田正男、石井健二、高橋雅和、遠藤均、塩田幸男、斎藤剛、坂田光穂、菊田克紀、二瓶元嘉（福島）、矢萩勉、塚田芳明、田中栄、立原定宗、中村博之、阿部富夫、高野実、水野尚芳、安田博之、松信登、富永保、佐藤仁、岡野克巳、黒石淳一、雨宮秀樹、橋本政孝、長谷川剛、阿部浩、白戸克弘、吉井雅一、横山明彦、安達和雄、岡田裕之、高橋二三也（茨城）、河先修、伊藤宏幸、長崎誠、岸裕行、山下勝俊、中田隆、四元俊一、石田正彦、中垣内考生（栃木）、浅川豊、斎藤光男、斎藤英邦、櫻井勝、今井典幸、長谷川明宏、岡田茂、新井喜人、戸塚幸広、岩井潤一、滝上徹、飯塚幸一郎（群馬）、飯野弘司、山田克彦、太利幸男、田中英美、水谷泰男、平野延行、松浦則夫、稲村正、安食邦明、田中和久、長瀬浩、寿川智博、井川修、塚本良則、吉田治、石塚広一、綿引智、久保浩、細津誠、野平健二郎、相坂賢将（埼玉）、笠原利宏、氷海正行、佐藤富男、釜屋泉、内記英夫、大鐘雅善、増田敏雄、飯名剛士、泉水孝浩、山上修二郎、平松裕、西山清、森田佳光、小島朋浩（千葉）、細木建夫、高柳修一、金城和貞、宮川隆史、大東秀明、牛木達、中山恒憲、安田真、吉野茂、岩尾幸市、三尾良之、大城和彦、内田明克、辻俊朗、福地新也、堀江成典、永春文義、宇田川敏郎、吉田修、山田修、古瀬芳孝、長谷川素道、那須公徳、呉国忠、渕脇英一、江原秀、伊藤誠、南雲千賀子、工藤竜、堀川智宏、梶

原敏幸（東京）、塩谷和雄、作田雅弘、斉田英二、鶴留高伸、定森秀光、古賀幸男、中山和治、堀井信也、松尾正行、神林正明、白坂篤哉、五反田淳、本田新吾、南本雅弘、斉藤史洋、加藤道夫、菅野敏雄、中村久、中村勝彦、江成浩二、小松巌、尾形幸男（神奈川）、吉田利由、代永幸男、窪田美文、鶴田睦雄、菊島功、古屋浩幸、武藤寛、関口直人、楡井俊彦、菊島裕次、八田政久、初鹿野仁、新谷幸司、依田久、小尾美雄（山梨）、小林豊、頓所勉、小川浩、関昌央（新潟）、中島千明、清水健太郎、矢島富士雄、岩下道範、塩川亮広、小山吉明、服部博幸、山浦謙一、小林達也、渡辺政美、塩川源太郎、片桐巌、行田潤（長野）、田中宏育、上野直喜、桜打佳浩、金原理博、越前敏丈、中浦悟、東瀬義人、中原昭二、大森聡、山貫克郎、室田忠央、佐々木昭彦（富山）、井川頼彦、九田秀夫、中村明裕、中田一宏、山口和博、寺山浩吉、石井克幸、八十山修、北中弘規（石川）、松岡良朔、仲野数也（福井）、畑中忍、帯金斉利、太田敏雅、桐下忠明、佐塚浩徳、石川直樹、三吉範行、渡辺紀之、鈴木教昭、若林賢吾（静岡）、久米廣志、竹内高一、永田裕孝、早川真澄、荒川悟、近藤喜明、澤保司、木和田晋弘、細井和夫、榊原暢広、徳永賢志、岩田功、鵜飼克博、藤澤健、伊藤文彦、足立智司、辛島真一、天神浩詩、鈴木義典、藤原邦夫、小林きよみ、門口ますみ、横井秀信、浜口卓志、白井雅彦、上川一樹、三浦渉、足立輝明、濱田尚人、松原伸司、久保田昌俊、小川裕之、濱野健一、根来英介、花井幹郎、後藤義和、佐藤友紀、小島俊彦、青木英樹、川合謙和、大須賀成治、木村英資、志賀賢治（愛知）、夏目眞治、松ケ谷光廣、中森一郎、神谷斉、平賀達也、宇尾野章、坂倉和寛、藪内弘志、三谷雅人、松下義文、西田民夫、片山拓、近藤喜夫、佐野知之、阿野正憲（三重）、工藤康夫、今井田康雄、野久康明、名倉昭弘、吉安秀光、川地桂一、加藤隆広、木村勝重、高森賢、奥村誠、近藤田都哉（岐阜）、丹田克巳、瀧孝二、位田敏夫、崎野充博、井上清光、橋山登志一、武田憲樹、伊藤公英、林田光秀、能波羊二、太田朗、金子文広、西堀和彦、山内徹好（滋賀）、西沢金作、辻吉和、八木弘信、国府勝、太田泰史、茨木貴史、村田武史、西村純、咲本薫、前川明範、中島良夫、西澤祐二、川勝裕義、中村昌人、加藤英二、佐藤晃（京都）、勝本章裕、源野幸次、吉村剛志、高原浩徳、川口裕史、佐々木昌弘、岡本寿一、奥田博章、鳥羽勇、飯塚範子、的場秀浩、成瀬正彦、池辺浩、佐々木昭彦、金谷将央、川勝宏治（大阪）、岡辺清和、大西清志、井登正典、保田良明、翁長徹、藤谷尚旦（兵庫）、中川敏文、阪本英雄、倉本積一、河戸憲次郎、柴田秀治（奈良）、田中洋光、吉田唯行、小崎雅基、梅山淳夫、横山和哉、田中秀和、山崎彰、岡田好輝（和歌山）、松本吉司、渡洋谷啓、小沢敏正、田中宏明、渡辺憲二、望月裕之、稲葉昌治、森本泰夫（鳥取）、村上芳美、山代邦徳（島根）、佐藤正敏、守安聖友、内藤健、西田恵介、西英男、中村弘毅、大塚敏明、飯野清彦、中谷幸生、徳田浩一、山本篤洋（岡山）、渡辺真一、槙場英昭、小田玄、高野修、児玉俊二、米田健、河野真志、湯中勝、日野栄二、井藤英忠、奥田新治、酒巻清治、長沢純平、楢原隆男、玉村健次、津川昭、藤野義廣（広島）、吉本明人、吉村誠司、野村幹男、長井康伸、阪本克彦、中村健一、山野篤城、重宗誠司、吉兼敦生、村田晃太郎、倉谷廣彦、白川裕隆、山崎仲介、橋本二次夫、林孝志、梅本司、和田明俊、飯島浩太、西本昌豊、木原節、河本禎介（山口）、上濱清二、泉谷俊郎、亀井好弘、高畠賢、渡辺一晶、平野雅也、谷口友一、松井等、渡里修（香川）、佐藤公美、曽根哲司、濱田浩之、森口裕次、小川昌志（徳島）、白石隆保、石川達也、今井茂宏、竹内強、山本耕一、先田寿志、川田哲也、上野裕司、松本知己、野本孝（愛媛）、片岡正樹、大原雄二、成岡浩、山本和弘、谷脇敦、佐賀厚幸、葛目憲昭（高知）、池田修、鈴木正英、川村浩之、稲永貴仁、吉村浩、遠藤雅章、田中守、古賀誠司、七篠和成、谷新治、川西章生、秋庭智之、藤田章祐、佐伯敏享、安永剛、佐伯忠亮、森茂泰（福岡）、小松義明、境吉彦、柳本英雄、谷崎啓司、南里末一、内田琢男、牟田安典、川原安嗣（佐賀）、河田誠、荒木徹、児玉浩三郎、石塚大河（長崎）、鶴田祐一郎、坂本詔一、田中繁蔵、牧均、長野一彦、村田武、山下智紀、四宮一郎、宇佐見誠也、和田幸彦（熊本）、徳重誠、薬師寺徳之（大分）、黒木保臣、中川栄一、佐藤和好、税所健好、長友正憲、松田哲秀、米倉公司、末廣芳文、舟木浩久、巣立勝弘、宮元章次、石原敏博、冨永卓公（宮崎）、馬場口和久、奥山誠恒、井料たか子、重吉和久、積芳広（鹿児島）、比嘉和直、大城隆、上原俊裕、大城伸、知念正則、上江洲登、東迎和芳、宮城靖、三輪一義、儀間稔、新垣志信、佐平牧生、新里泰司（沖縄）

平成10、11年度　審判登録数一覧

		国際	A	B	C	合計
	北海道	1	11	18	40	70
東北	青　森	0	6	8	5	19
	岩　手	0	14	15	19	48
	宮　城	0	4	6	10	20
	秋　田	0	6	7	3	16
	山　形	0	3	7	18	28
	福　島	0	9	9	8	26
関東	茨　城	0	6	24	12	42
	栃　木	0	3	9	10	22
	群　馬	0	2	12	9	23
	埼　玉	0	12	21	17	50
	千　葉	3	2	14	34	53
	東　京	2	18	30	45	85
	神奈川	0	23	22	55	100
	山　梨	0	4	15	10	29
信越	新　潟	0	0	4	5	9
	長　野	0	4	13	16	33
	富　山	0	17	12	20	49
	石　川	0	9	9	14	32
	福　井	0	4	2	20	26
東海	静　岡	0	5	10	15	30
	愛　知	1	17	43	40	101
	三　重	0	3	15	19	37
	岐　阜	0	2	11	25	38
近畿	滋　賀	0	2	14	11	27
	京　都	0	9	17	6	32
	大　阪	0	12	15	23	60
	兵　庫	0	5	6	9	20
	奈　良	0	5	5	12	22
	和歌山	0	1	8	9	18
中国	鳥　取	0	4	8	12	24
	島　根	0	0	2	12	14
	岡　山	0	12	11	22	45
	広　島	0	8	17	7	32
	山　口	0	8	21	11	40
四国	香　川	0	4	9	13	26
	徳　島	0	0	5	8	13
	愛　媛	2	6	10	13	31
	高　知	0	4	7	9	20
九州	福　岡	0	7	17	20	44
	佐　賀	0	2	8	19	29
	長　崎	0	5	4	21	30
	熊　本	0	9	10	16	35
	大　分	0	5	2	13	20
	宮　崎	0	6	13	14	33
	鹿児島	0	0	5	15	20
	沖　縄	0	4	13	45	62
合　計		9	301	558	819	1687

簡易ハンドボール指導の実践報告書

学校体育ハンドボール検討委員会
山口県美弥市立大嶺小学校　下瀬　昌巳

1 単元名

ハンドボール型ボールゲーム（6年生／男子22名・女子17名）

2 子供たちの準備状況

a　体力：男子は運動に関して興味がある児童が多い。女子はおとなしく、室内で遊ぶ児童が多い。全体的に、走力は平均に位置するがソフトボール投げや斜め懸垂腕曲げなどの腕力や筋力を使う運動に弱い。

b　技能：ボールを扱う技能についてはある程度できている。ボール保持者以外の者の動きが欠けている。女子児童は、動くことをいやがり、ボールを意図的にさけている場合が少なくない。男子の動きに圧倒されていること、スピーディーな展開についていけないこと、他人との接触に対する恐怖感があることに原因があると思われる。

3 種目特性のとらえ方

a　正規のハンドボールとの関係：この単元では、パスやドリブルを中心とした集団的な動きづくりを重視する。集団の組織化された動きづくりにこそ、ハンドボールの戦術的な特性がある。

b　他のボールゲームと比較しての特性

(1)　サッカー：手によるボール操作は簡単で子供に親しみやすい。コートの広さから考え、集団としての動きづくりに力を入れやすい。投げる動作の方が差にひらきがない。

(2)　バスケットボール：動きを重点にすれば身長による問題が少なく、みんながほぼ同じ条件になる。

(3)　バレーボール：手を使って投げる動作は、正確さは要求されるが容易である。

4 教材化における工夫

a　物理的な環境の工夫

(1)　ゴールポスト

＊高さ2m幅2m（学校にあるゴールポスト）

＊高さ1・8m幅2m（重り、ひもつきの棒）

(2)　コート

＊ゴールエリアは6mの半円。スポーツテストのソフトボール投げの記録を参考。

＊35m×15mコートの広さは、両チーム16人が入り交じっても窮屈でない広さ。

(3)　得点：女子2点、男子1点。ゲームをしていく中で相談しながら変えていく。

(4)　ボール：ハンドボールの1号球。ボールの空気は少し柔らかめ。

b　心理的な環境の工夫

(1)　できるという安心感

(2)　憧れをもたせる。

5 ねらい

a　シュート可能な空間を意図的につくりだし、コンビネーションからパス～シュートができる。

b　技能内容を学びとる過程を、グループ自から創造し「みんながうまくなる感動」を共有できる。

c　仲間と共にゲームにおけるルールや作戦、役割を話し合い、お互いに問題点を検討し、課題を解決できる。

6 学習指導計画（表1参照）

7 実践結果

a　ためしのゲーム後：ボールを気軽にもつことができ、特に女子がやり易さを感じている。ボールを独占した児童は、組織的な攻撃方法の必要性を理解した。

b　ビデオ分析後：試しのゲームの時と比べて気づいたことが多く挙げられた。パス・シュート・チームプレーの仕方について反省していた。これからの期待や問題点にも気づいていた。

c　まとめ：授業を重ねていくごとに意欲が増した。教師にとっても、子供たちの技能やチームワーク向上が非常に楽しみであった。学校の中で、ハンドボールに類似したボールゲームを実践する学級が多くなった。

表１　学習指導計画（なわとび、持久力を高める運動と並行扱い）10時間扱い

次	学習内容	学 習 の め あ て	指導上の留意点
1	オリエンテーション （１時間）	○基本的なルールを知り、ハンドボールへの関心をもつ。	○基本的なルールを理解させる。 ・ダブルドリブル ・オーバー ・キーパーエリア ・男子１点　女子２点 ・男女混合チーム ・ファールとPT ○ドリブルよりパスの方が展開が速いことに気づかせる。
	ためしのゲーム （２時間）	○ゲームをしながら、自分たちに合ったルールづくりをする。	
2	ハンドボール型ゲーム （５時間）	○ゲームをしながら、チームとしての組織的な攻撃守備を考え、作戦を立て練習する。 ・味方の位置と敵の位置を考えてパスをすること ・走りながらのパス 　　　　　　キャッチ ・速い攻め方 ・キーパーの球出し	○パスとドリブルのコンビネーションを考えさせ、一人一人の動きについて話合いをさせる。 ・作戦カードの利用 ・ハーフコートでの 　２対１　４対４　３対２ ○走りながらの腕と脚の協応動作を意識させる。 ・ランニングパス ・個人の役割
	ビデオによるゲーム分析（１時間）	○ゲームのビデオを見ながら、良さや問題点に気づく。	○教師がそれぞれのチームの良さを認めて、自分を振り返させる。
3	まとめのゲーム （１時間）	○問題点を改善する作戦を立て、ゲームをする。	○作戦の時間を十分とりそれぞれの役割を明確にさせる。

各地学生春季リーグ戦

関東学生

■男子1部

筑波大 30―13 東海大
中　大 29―18 国士舘大
日体大 23―22 順天堂大
早　大 31―25 法　大
早　大 27―19 順天堂大
筑波大 43―22 国士舘大
中　大 21―18 東海大
日体大 31―23 法　大
筑波大 30―14 順天堂大
日体大 26―22 東海大
法　大 27―20 中　大
国士舘大 24―22 早　大
筑波大 28―21 法　大
早　大 32―13 東海大
日体大 23―23 国士舘大
順天堂大 21―20 中　大
国士舘大 22―21 順天堂大
法　大 19―14 東海大
筑波大 28―25 早　大
中　大 31―21 日体大
順天堂大 23―19 東海大
法　大 22―14 国士舘大
早　大 32―23 中　大
筑波大 27―25 日体大
国士舘大 20―19 東海大
順天堂大 23―18 法　大
早　大 32―19 日体大
中　大 29―24 筑波大

[順位]
①筑波大②早稲田大③中央大④日本体育大⑤国士舘大⑥法政大⑦順天堂大⑧東海大
※④―⑤位、⑥―⑦位は得失点差による

■男子2部

日　大 34―16 東学大
国武大 30―23 青学大
明　大 29―17 慶　大
拓　大 27―19 横浜商大
拓　大 18―13 東学大
明　大 23―21 国武大
日　大 36―12 横浜商大
青学大 24―18 慶　大
横浜商大 25―18 慶　大
日　大 30―18 青学大
拓　大 26―18 明　大
東学大 23―22 国武大
日　大 39―18 明　大
国武大 30―19 横浜商大
慶　大 22―21 東学大
拓　大 22―20 青学大
青学大 28―24 横浜商大
東学大 33―18 明　大
拓　大 23―21 国武大
日　大 36―15 慶　大
青学大 20―19 東学大
明　大 25―22 横浜商大
拓　大 28―24 慶　大
日　大 33―24 国武大
横浜商大 25―23 東学大
青学大 25―22 明　大
国武大 23―16 慶　大
日　大 26―10 拓　大

[順位]
①日本大②拓殖大③青山学院大④国際武道大⑤明治大⑥東京学芸大⑦横浜商科大⑧慶應大
※④―⑤位、⑥―⑦位は得失点差による

■男子3部

専修大 22―19 東　大
武蔵工大 30―26 横浜国大
神奈川大 20―18 東理大
茨城大 25―15 明星大
武蔵工大 26―19 東理大
明星大 29―21 東　大
神奈川大 30―27 横浜国大
茨城大 21―18 専修大
横浜国大 28―22 明星大
東理大 22―18 専修大
東　大 19―19 神奈川大
茨城大 19―19 武蔵工大
武蔵工大 27―10 東　大
横浜国大 28―22 専修大
東理大 34―19 明星大
茨城大 20―18 神奈川大
神奈川大 28―18 明星大
横浜国大 24―21 東　大
武蔵工大 26―20 専修大
茨城大 28―19 東理大
神奈川大 23―19 専修大
武蔵工大 33―19 明星大
東理大 23―21 東　大
茨城大 22―19 横浜国大
横浜国大 36―29 東理大
武蔵工大 27―17 神奈川大
明星大 26―19 専修大
茨城大 22―15 東　大

[順位]
①武蔵工業大②茨城大③神奈川大④横浜国立大⑤東京理科大⑥明星大⑦専修大⑧東京大
※①―②は得失点差による

■男子4部

立　大 28―18 杏林大
東経大 28―21 千葉大
創価大 34―18 大東大
芝工大 25―23 一橋大
芝工大 27―26 創価大
一橋大 28―14 大東大
立　大 29―21 千葉大
東経大 36―25 杏林大
一橋大 20―19 立　大
創価大 25―23 東経大
杏林大 39―20 大東大
芝工大 34―30 千葉大
東経大 31―21 一橋大
立　大 21―18 創価大
芝工大 27―20 杏林大
千葉大 35―26 大東大
立　大 21―18 芝工大
東経大 42―15 大東大
千葉大 26―23 一橋大
創価大 19―18 杏林大
東経大 28―24 芝工大
杏林大 22―22 一橋大
千葉大 28―20 創価大
立　大 33―18 大東大
一橋大 23―22 創価大
芝工大 42―25 大東大
杏林大 34―33 千葉大
東経大 24―18 立　大

[順位]
①東京経済大②立教大③芝浦工大④一橋大⑤創価大⑥千葉大⑦杏林大⑧大東文化大
※②―③位、⑤―⑥位は得失点差による

■男子5部

明学大 26―15 東農大
上智大 34―17 都立大
産能大 18―17 帝京大
東洋大 12―0 成蹊大
産能大 12―0 成蹊大
明学大 19―18 上智大
東洋大 21―16 帝京大
東農大 29―21 都立大
帝京大 30―20 東農大
明学大 26―14 東洋大
産能大 21―18 上智大
都立大 12―0 成蹊大
都立大 22―22 東洋大
明学大 33―18 帝京大
東農大 24―22 産能大
上智大 12―0 成蹊大
明学大 35―19 都立大
上智大 24―11 東農大
東洋大 23―15 産能大
帝京大 12―0 成蹊大
産能大 36―27 都立大
帝京大 21―20 上智大
東洋大 22―17 東農大
明学大 12―0 成蹊大
産能大 22―18 明学大
上智大 16―15 東洋大
帝京大 32―26 都立大
東農大 12―0 成蹊大

[順位]
①明治学院大②産能大③芝浦工大④上智大⑤帝京大⑥東京農業大⑦東京都立大⑧成蹊大
※④―⑤位は得失点差による

■男子6部

東工大 33―17 駒　大
都留大 22―16 防衛大
東工大 23―20 学習院大
横浜市大 27―17 駒　大
防衛大 31―30 農工大
都留大 33―23 亜　大
農工大 21―20 亜　大
農工大 24―17 防衛大
都留大 21―17 駒　大
横浜市大 34―22 学習院大
農工大 23―21 学習院大
横浜市大 26―15 亜　大
農工大 17―13 東工大
亜　大 22―15 駒　大
横浜市大 33―19 都留大
防衛大 23―21 学習院大
横浜市大 28―20 防衛大
農工大 30―12 駒　大
東工大 21―10 亜　大
都留大 24―24 学習院大
東工大 19―19 横浜市大
学習院大 34―23 駒　大
亜　大 22―19 防衛大
農工大 29―17 都留大
農工大 24―22 横浜市大
学習院大 29―18 亜　大
防衛大 29―20 駒　大
東工大 17―15 都留大

[順位]
①東京農工大②横浜市立大③東京工業大④都留文科大⑤防衛大⑥学習院大⑦亜細亜大⑧駒沢大

■男子7部

独協大 25―13 山梨大
群馬大 34―17 千葉工大

宇都宮大 25—17 文教大
武蔵大 22—21 工芸大
独協大 25—16 千葉工大
群馬大 24—15 山梨大
武蔵大 21—19 宇都宮大
文教大 34—17 工芸大
群馬大 29—21 独協大
山梨大 20—19 千葉工大
宇都宮大 33—20 工芸大
文教大 24—23 武蔵大
独協大 23—22 宇都宮大
文教大 21—20 山梨大
武蔵大 29—20 千葉工大
群馬大 31—10 工芸大
独協大 20—15 文教大
宇都宮大 23—22 山梨大
千葉工大 23—20 工芸大
群馬大 21—17 武蔵大
独協大 25—16 武蔵大
山梨大 32—26 工芸大
宇都宮大 26—22 千葉工大
群馬大 26—22 文教大
独協大 32—19 工芸大
山梨大 33—25 武蔵大
文教大 28—21 千葉工大
宇都宮大 23—22 群馬大

[順位]
①群馬大②獨協大③宇都宮大④文教大⑤山梨大⑥武蔵大⑦千葉工業大⑧東京工芸大
※①—②位、⑤—⑥位は得失点差による

■男子8部A

城西大 17—15 昭和薬大
玉川大 29—28 埼玉大
国学院大 35—20 工科大
玉川大 29—17 国学院大
埼玉大 21—21 城西大
玉川大 17—17 城西大
埼玉大 21—14 昭和薬大
玉川大 12—0 工科大
城西大 27—23 国学院大
昭和薬大 12—0 工科大
国学院大 24—22 埼玉大
玉川大 27—13 昭和薬大
国学院大 23—22 昭和薬大
埼玉大 12—0 工科大
城西大 12—0 工科大

[順位]
①玉川大②城西大③国学院大④埼玉大⑤昭和薬科大⑥東京工科大

■男子8部B

山梨学大 26—20 日工大
平成大 25—15 駿河台大
北里大 12—0 東京電大
北里大 22—15 日工大
山梨学大 35—18 駿河台大
平成大 12—0 東京電大
北里大 19—19 山梨学大
平成大 24—12 日工大
駿河台大 12—0 東京電大
日工大 26—16 駿河台大
平成大 23—17 北里大
山梨学大 12—0 東京電大
平成大 18—15 山梨学大
北里大 12—0 駿河台大
日工大 12—0 東京電大

[順位]
①帝京平成大②山梨学院大③北里大④日本工業大⑤駿河台大⑥東京電機大
※②—③位は得失点差による

▼順位決定戦

玉川大 20—17 平成大
城西大 28—26 山梨学大

[8部順位]
①玉川大②帝京平成大③城西大④山梨学院大

☆男子入替戦

1—2部…順天堂大は1部残留、日大は1部昇格
2—3部…慶大は2部残留、茨城大は2部昇格
3—4部…立大、東経大は3部昇格
4—5部…産能大、明学大は4部昇格
5—6部…横浜市大、東京農工大は5部昇格
6—7部…亜大、駒大は6部残留
7—8部…城西大、玉川大は7部昇格

■女子1部

国士舘大 32—24 日体大
筑波大 40—19 茨城大
東女体大 27—14 日女体大
日体大 26—22 国士舘大
筑波大 25—12 茨城大
東女体大 25—20 日女体大
筑波大 26—22 国士舘大
日体大 19—15 日女体大
東女体大 22—19 茨城大
筑波大 23—17 国士舘大
日体大 23—22 日女体大
東女体大 25—24 茨城大
日女体大 20—18 茨城大
東女体大 25—12 国士舘大
茨城大 18—13 日女体大
東女体大 26—16 国士舘大
筑波大 30—21 日体大
茨城大 24—20 国士舘大
筑波大 22—9 日女体大
東女体大 26—23 日体大
国士舘大 20—19 茨城大
筑波大 17—13 日女体大
東女体大 26—22 日体大
国士舘大 24—14 日女体大
日体大 25—17 茨城大
筑波大 26—23 東女体大
日女体大 17—15 国士舘大
茨城大 20—16 日体大
筑波大 25—23 東女体大

[順位]
①筑波大②東京女子体育大③日本体育大④国士舘大⑤茨城大⑥日本女子体育大
※④—⑤位は得失点差による

■女子2部A

東海大 48—5 昭和薬大
聖徳大 35—11 千明短大
東学大 43—11 東理大
順天堂大 7—7 玉川大
東学大 34—9 玉川大
東海大 30—6 千明短大
順天堂大 17—6 東理大
聖徳大 41—7 昭和薬大
東学大 32—7 昭和薬大
聖徳大 42—12 玉川大
順天堂大 12—11 千明短大
東海大 53—1 東理大
聖徳大 50—8 東理大
順天堂大 13—7 昭和薬大
東海大 45—7 玉川大
東学大 34—13 千明短大
玉川大 19—18 昭和薬大
東学大 28—25 聖徳大
東海大 24—2 順天堂大
千明短大 32—11 東理大
聖徳大 24—15 順天堂大
昭和薬大 24—12 東理大
玉川大 17—17 千明短大
東海大 23—16 東学大
千明短大 20—18 昭和薬大
玉川大 25—10 東理大
東学大 31—7 順天堂大
東海大 22—14 聖徳大

[順位]
①東海大②東京学芸大③聖徳大④順天堂大⑤玉川大⑥千葉明徳短大⑦昭和薬科大⑧東京理科大

■女子2部B

都留大 27—12 大東大
都留大 27—15 東医歯大
大東大 24—16 東医歯大
都留大 29—16 大東大
都留大 23—20 東医歯大
大東大 15—11 東医歯大

[順位]
①都留文科大②大東文化大③東京医科歯科大

☆女子入替戦

2部A—B…都留大は2部A昇格
1—2部…日女体大は1部残留

関西学生

■男子1部

桃山学大 26—17 関西外大
大経大 34—20 同　大
京産大 32—13 近　大
大体大 35—16 立命館大
京産大 24—17 立命館大
桃山学大 39—19 同　大
大経大 21—19 関西外大
大体大 28—14 近　大
大体大 38—10 同　大
京産大 26—19 関西外大
大経大 27—26 立命館大
桃山学大 32—18 近　大
京産大 25—19 同　大
桃山学大 33—15 立命館大
大体大 36—12 関西外大
大経大 24—14 近　大
桃山学大 30—20 京産大
大体大 23—20 大経大
近　大 27—26 関西外大
同　大 24—22 立命館大
立命館大 24—18 関西外大
近　大 26—21 同　大
大体大 27—15 桃山学大
京産大 32—25 大経大
関西外大 31—22 同　大
近　大 23—21 立命館大
桃山学大 33—21 大経大
大体大 40—16 京産大

[順位]
①大阪体育大②桃山学院大③京都産業大④大阪経済大⑤近畿大⑥立命館大⑦関西外国語大⑧同志社大
※⑥—⑧位は対戦者間の得失点差による

■男子2部

神戸大 29—27 龍谷大
神戸国際 40—25 大阪大
関西学大 29—18 天理大
神戸大 26—16 関西大
天理大 31—26 龍谷大
関西学大 23—22 龍谷大
神戸大 29—27 天理大
関西大 25—23 大阪大
関西学大 30—24 神戸国際
関西大 21—21 龍谷大
神戸国際 29—28 天理大
神戸国際 40—22 神戸大
天理大 27—27 大阪大
関西学大 23—18 関西大
関西学大 31—27 大阪大
神戸国際 22—22 関西大

関西学大 29—25 神戸大
龍谷大 32—29 神戸国際
天理大 37—14 関西大
龍谷大 30—19 大阪大
神戸大 30—26 大阪大
[順位]
①関西学院大②神戸大③神戸国際大④天理大⑤龍谷大⑥関西大⑦大阪大
※②—③位、④—⑤位は対戦者間成績による

■男子3部

大阪学大 27—16 追手門大
仏教大 26—23 大阪府大
大教大 30—18 追手門大
京大 25—23 甲南大
仏教大 32—30 甲南大
京大 27—22 大教大
大阪学大 27—23 大阪府大
追手門大 27—19 甲南大
京大 26—17 大阪学大
大教大 32—25 仏教大
大阪府大 26—17 京大
仏教大 38—33 大阪学大
大教大 34—22 甲南大
大阪学大 33—27 甲南大
京大 24—22 追手門大
大教大 27—19 大阪府大
京大 25—17 仏教大
仏教大 29—25 追手門大
甲南大 31—31 大阪府大
大教大 27—22 大阪学大
追手門大 29—23 大阪府大
[順位]
①京都大②大阪教育大③仏教大④大阪学院大⑤追手門学院大⑥大阪大⑦甲南大
※①—②位、④—⑤位は対戦者間成績による

■男子4部

神戸学大 34—18 大阪産大
奈良大 17—17 京都医大
京大医学 29—18 大阪市大
和歌山大 28—20 大阪産大
神戸学大 34—17 京都医大
和歌山大 20—19 京大医学
奈良大 27—26 大阪市大
神戸学大 38—18 大阪市大
大阪産大 33—27 奈良大
和歌山大 25—19 京都医大
神戸学大 28—21 京大医学
大阪市大 23—20 京都医大
京都医大 26—21 大阪産大
神戸学大 36—25 奈良大
大阪市大 27—19 和歌山大
京大医学 27—18 大阪産大
和歌山大 31—21 奈良大
大阪市大 31—20 大阪産大
京大医学 19—18 京都医大
神戸学大 33—26 和歌山大
京大医学 24—19 奈良大
[順位]
①神戸学院大②和歌山大③京都大医学部④大阪市立大⑤京都府医大⑥奈良大⑦大阪産業大
※②—③位は対戦者間成績、⑤—⑥位は得失点差による

■男子5部

姫路獨協 23—21 大阪経法
奈良教大 34—22 京都教大
大阪工大 16—16 京都教大
奈良教大 23—14 京都工繊
大阪経法 19—11 滋賀大
大阪工大 28—20 滋賀大
姫路獨協 31—24 京都工繊
奈良教大 24—15 大阪経法
奈良教大 34—9 滋賀大
京都教大 32—16 姫路獨協
大阪経法 19—16 大阪工大
京都工繊 23—12 滋賀大
姫路獨協 27—24 大阪工大
京都工繊 22—17 大阪経法
姫路獨協 30—27 滋賀大
奈良教大 33—19 大阪工大
大阪経法 17—17 京都教大
京都工繊 24—20 大阪工大
京都教大 34—21 滋賀大
京都工繊 21—19 京都教大
奈良教大 34—25 姫路獨協
[順位]
①奈良教育大②姫路獨協大③京都工芸繊維大④京都教育大⑤大阪経済法科大⑥大阪工業大⑦滋賀大
※②—③位は対戦者間成績による

■男子6部

Aブロック
大阪外大 22—21 近大農学
大阪外大 29—26 京都府大
大阪外大 19—14 大阪薬大
大阪外大 26—16 大阪歯大
大阪薬大 22—19 大阪歯大
大阪薬大 19—16 近大農学
大阪薬大 23—21 京都府大
京都府大 19—16 近大農学
京都府大 没収 大阪歯大
近大農学 12—0 大阪歯大
Bブロック
神戸商船 34—14 京都外大
神戸商船 28—16 大阪電大
大阪電大 23—17 京都外大
▼順位決定戦
大阪外大 17—12 神戸商船
大阪電大 21—16 大阪薬大
京都府大 棄権 京都外大
[順位]
①大阪外国語大②神戸商船大③大阪電気通信大④大阪薬科大⑤京都府立大⑥京都外国語大⑦近大農学部⑧大阪歯科大
☆男子入替戦
関西外大は1部残留、関西学院大は1部昇格
関西大、大阪大は2部残留
甲南大、大阪府大は3部残留
大阪産業大は4部残留、姫路獨協大は4部昇格
大阪工業大、滋賀大は5部残留

■女子1部

大教大 32—19 龍谷大
大体大 44—6 関西外大
天理大 28—16 立命館大
武庫川女 38—6 関西女短
天理大 41—13 関西外大
大教大 39—20 立命館大
大体大 30—7 龍谷大
大体大 29—20 立命館大
武庫川女 51—10 関西外大
大教大 21—10 関西女短
武庫川女 36—17 立命館大
大体大 29—5 関西女短
天理大 28—19 関西女短
龍谷大 40—21 関西外大
龍谷大 21—19 立命館大
大教大 35—14 関西外大
武庫川女 19—17 天理大
関西女短 25—19 関西外大
大教大 19—16 武庫川女
大体大 22—11 天理大
立命館大 39—22 関西外大
天理大 24—18 龍谷大
武庫川女 24—11 龍谷大
大体大 19—15 大教大
立命館大 25—19 関西女短
龍谷大 28—10 関西女短
大教大 24—15 天理大
大体大 19—17 武庫川女
[順位]
①大阪体育大②大阪教育大③武庫川女子大④天理大⑤龍谷大⑥立命館大⑦関西女子短期大⑧関西外語大

■女子2部

関西学大 16—13 関西大
成蹊女短 19—8 滋賀大
京都教大 27—21 大阪大
園田学大 16—13 関西大
成蹊女短 18—18 関西学大
京都教大 30—20 園田学大
関西大 22—6 滋賀大
大阪大 18—14 成蹊女短
京都教大 28—16 関西学大
成蹊女短 11—10 園田学大
大阪大 20—12 滋賀大
京都教大 23—15 関西大
京都教大 27—19 成蹊女短
園田学大 20—19 関西学大
関西大 18—12 大阪大
京都教大 34—11 滋賀大
大阪大 16—11 関西学大
大阪大 23—16 園田学大
成蹊女短 15—15 関西大
関西学大 19—9 滋賀大
園田学大 24—14 滋賀大
[順位]
①京都教育大②大阪大③大阪成蹊女子短期大④園田学園女子大⑤関西学院大⑥関西大⑦滋賀大
※③—④位、⑤—⑥位は対戦者間成績による

■女子3部

Aパート
大阪府大 22—17 大阪薬大
奈良女大 19—10 追手門大
奈良教大 9—7 大阪府大
奈良女大 16—16 大阪府大
追手門大 18—8 奈良教大
奈良女大 24—11 大阪薬大
追手門大 13—6 大阪府大
奈良教大 15—6 大阪薬大
奈良女大 15—10 奈良教大
追手門大 15—5 大阪薬大
Bパート
大阪市大 12—7 神戸大
和歌山大 16—11 大阪外大
和歌山大 27—5 甲南大
神戸大 9—2 大阪外大
大阪市大 16—7 甲南大
和歌山大 11—9 神戸大
神戸大 16—8 甲南大
大阪市大 19—3 大阪外大
和歌山大 18—15 大阪市大
大阪外大 10—9 甲南大
▼順位決定戦
和歌山大 18—9 奈良女大
大阪市大 16—12 追手門大
神戸大 棄権 奈良教大
大阪外大 11—5 大阪府大
甲南大 14—10 大阪薬大
[順位]
①和歌山大②奈良女子大③大阪市立大④追手門学院大⑤神戸大⑥奈良教育大⑦大阪外国語大⑧大阪府立大⑨甲南大⑩大阪薬科大
☆女子入替戦
1—2部…関西女短大は1部残留、京都教育大は1部昇格
2—3部…関西大は2部残留、和歌山大は2部昇格

「創立60周年記念誌」が出来上がりました!!

このほど日本ハンドボール協会創立60周年記念誌が刊行されました。この記念誌は日本ハンドボール史(日本協会創立50周年史)に続く、この10年間の記録を中心に纏められました。また、今後のハンドボール界発展について、日本リーグ委員長、男女ナショナルチーム監督などにご寄稿いただき、シドニーオリンピック、21世紀に向かっての発展について語っていただきました。さらに、50年史編集委員会からは、50年史に纏められなかった日本ハンドボール界の史実を追加編集いただき、一部50年史の続編としての内容も盛り込まれています。

なお、この記念誌は、全国都道府県協会、ならびに各全国連盟の会長副会長の皆様を始め、日本リーグチーム、ハンドボール用具業者の皆様の絶大なるご協力の賜としてここに完成を見ることができました。

都道府県協会、各全国連盟には各一部贈呈致しますが、一般読者の皆様にも、この記念誌を下記要領にて頒布いたします。

※お申し込みは郵便局備付の振替用紙にて、記入例に従い、お願いいたします。

頒布価格　5000円
（送料・消費税1000円）
〈申込先〉口座番号　00120−4−58348
加入者名　（財）日本ハンドボール協会
〈問い合わせ〉
〒150−0041（財）日本ハンドボール協会
Tel.03−3481−2361

（財）日本ハンドボール協会創立60周年記念誌
上製本箱入り　総ページ数　260ページ

目次より

「創立60周年記念誌」の目次から

払込取扱票

00

口座番号（右詰めにご記入ください）　00120−4−58348
金額　千 百 十 万 千 百 十 円　¥6000
加入者名　財団法人 日本ハンドボール協会
料金　120
特殊取扱

通信欄
財団法人日本ハンドボール協会
創立60周年誌代金
頒布価格 5000円 消費税＋送料 1000円
合計 6000円

払込人住所氏名
（郵便番号）150−0041
東京都渋谷区神南1−1−1
送球 花子
（電話番号）03−3481−2361

受付局日附印

この払込取扱票は、機械で処理しますので、枠内に丁寧に記入してください。
また、枠内を汚したり、この票を折り曲げたりしないでください。（郵政省）

切り取らないで郵便局にお出しください。

払込票

口座番号　00120−4
右詰めにご記入ください　58348
加入者名　財団法人日本ハンドボール協会
金額　千 百 十 万 千 百 十 円　¥6000
払込人住所氏名
150−0041
渋谷区神南1−1−1
送球花子
料金（消費税込み）　円
受付局日附印
特殊取扱

《報告》

'97男子世界ハンドボール選手権大会・熊本開催に関わる各団体からの補助金

平成９年度事業として、皆々様のご支援により大成功裡に幕を閉じることができました。同大会の運営各事業経費の財源の一部として、下記の諸団体から補助金の交付を戴きましたことをご報告致します。

通常、特定のスポーツ団体への補助されるケースは少なく、同大会の開催趣意と日本のハンドボール競技の更なる普及・発展施策をご理解賜り、特段のご配慮を戴きましたことに深い感謝の意を表し、ご報告致します。

イ）日本自転車振興会（競輪補助事業）
　平成８年度　大会報告事業に ………… 17,095,000円
　平成９年度　大会映像記録・国際信号製作に ………… 30,000,000円

ロ）財団法人　日本船舶振興会（日本財団）
　平成９年度　ハンドボールコート床材（タラフレックス）×２面購入に ………… 13,500,000円

ハ）日本体育・学校健康センター　スポーツ振興基金部
　平成９年度　大会選手等輸送バス借上げに ………… 7,000,000円

ニ）財団法人　大崎企業スポーツ事業研究助成団体
　平成９年度　世界ハンドボール役員代表者研究会に ………… 1,000,000円

《8月度行事予定》

■国内大会

● 第49回全国高校選手権大会
　８月１－７日／徳島市立体育館
＊女子決勝戦　ＮＨＫ放映
● 第41回全国教職員大会
　８月10－13日／石川県石川町総合体育館
● 第25回全国高等専門学校選手権大会
　８月１－２日／駒沢体育館
● 第３回ジャパンオープントーナメント
　８月６－９日／熊本県山鹿市総合体育館
● 第27回全国中学校大会
　８月16－21日／仙台市体育館
● 東日本学生選手権大会
　８月８－12日／笠間市民体育館他
● 西日本学生選手権大会
　８月14－18日／広島県立体育館
● 国体ブロック大会
　各地

■国際大会

● 第５回アジア女子ジュニア選手権大会（兼1999年世界女子ジュニアアジア予選）
　８月31日－９月４日／大阪・舞州アリーナ
● 第６回アジア男子ジュニア選手権大会（兼1999年世界男子ジュニアアジア予選）
　８月25日－９月７日／バーレーン
● 日韓スポーツ交流合同合宿
　８月11－16日／女子　横浜・平沼記念体育館
　８月24－29日／男女　韓国遠征
● 第６回中日韓ジュニア交流競技会
　８月26－28日／中国　名馬庄市
　参加チーム／男子・横浜商工、女子・洛北高校

HAND BALL CONTENTS AUGUST

（財）日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』第三八八号
昭和四十年六月七日 第三種郵便物認可
平成十年六月二十六日印刷 平成十年八月一日発行
東京都渋谷区神南一−一−一
電話 代表 三四八一−二三六一
振替 〇〇一二〇−七−一〇二九三
編集兼発行人 市原則之
価格は登録金に含む